

鉄鋼需給の動き

2023 年 5 月

一般 社団法人日本鉄鋼連盟

日本経済は、緩やかに持ち直しているが、一部指標に弱さが見られる。足元の指標を見ると、需要面では社会経済活動の正常化から小売業販売額(3月)は13ヵ月連続で増加している。供給面では、鉱工業生産指数(3月、季調済)は車載用半導体不足の緩和による自動車生産の上昇等から、前月比で2ヵ月連続の改善となり、基調判断は「生産は緩やかな持ち直しの動き」に上方修正された。一方、3月の輸出数量指数(季調済)は前月比0.7%減と悪化がみられ、主要輸出先では欧米、アジア向けがいずれも2ヵ月ぶりの減少となっている。

海外経済を見ると、米国では雇用環境、個人消費の堅調持続もあり、景気減速は緩やかなものに止まっているものの、インフレ長期化、利上げ影響懸念は燻っており、金融不安の高まりに伴う融資環境悪化による景気下押しも警戒されている。欧州では、サービス業を中心とした景況感の改善は続いているものの、依然インフレ圧力は強く、景気の先行きは不確かな状況にある。中国は、1～3月期の実質GDP成長率が前年比、前期比ともに伸び率は加速し、経済は総じて回復を辿っているものの、主要経済指標は好不調が混在している。

国内鉄鋼市場を見ると、製造業は、自動車部門で4月の国内新車販売が前年同月比で8ヵ月連続増、3月の四輪車生産も同3ヵ月連続で増加するなど半導体供給不足が緩和しつつある。他方、3月の産業機械部門(鉱工業生産)は、生産用機械は3ヵ月連続、汎用・業務用機械は2ヵ月連続とともに前年を下回っている。建設業では、3月の新設住宅着工戸数と非住宅着工床面積がともに前年同月比で2ヵ月連続で減少している。こうしたなか、3月の国内鉄鋼統計は、粗鋼生産が前年同月比5.9%減の749万トン、普通鋼鋼材生産も同1.1%減の545万トンとなり、ともに15ヵ月連続の減少となった。

海外鉄鋼市場を見ると、3月の世界粗鋼生産は前年同月比1.7%増の1億6,510万トンと6ヵ月ぶりに増加した。中国の4月粗鋼生産は前年同月比1.5%減の9,264万トン(1日当たりの生産は309.3万トン、22年5月以来の高水準)と4ヵ月ぶりの減少となったものの、2ヵ月連続の9,000万トン越えとなった。また、同月の鋼材輸出は同59.4%増の793万トンと、2ヵ月連続で800万トン弱の高水準となった。

当面の経済及び鉄鋼需要の下振れリスクとして、米国の債務上限問題や各国中央銀行の金融引締め長期化、欧米における金融システム不安に伴う景気減速、資源価格の上昇や高止まり、物価上昇による消費者マインドの冷え込み、地政学リスク、供給制約、中国の鉄鋼需給等が挙げられる。こうしたリスクを踏まえ、引き続き内外経済及び鋼材需要の動向を注視する必要がある。

1.経済動向

- ・3月の鉱工業生産は前月比2ヵ月連続の上昇。基調判断は「生産は緩やかな持ち直しの動き」に上方修正。先行き4月は上昇、5月は低下。
- ・3月の機械受注(船舶・電力を除く民需)は前月比3.9%減と2ヵ月連続の減少。基調判断は「足踏みがみられる」に据置き。
- ・4月の乗用車販売(速報)は前年同月比20.1%増の27.2万台と8ヵ月連続の増加。普通車・小型車・軽がいずれも増加。
- ・3月の小売業販売額(速報)は前年同月比7.2%増と13ヵ月連続の増加、同月の全世帯消費支出は前年同月比1.9%減と2ヵ月ぶりの減少。
- ・3月の完全失業率は前月から0.2ポイント悪化の2.8%。有効求人倍率は前月から0.02ポイント低下の1.32倍。
- ・1～3月期の実質GDP成長率(一次速報)は、季調済前期比0.4%増(年率換算1.6%増)と3期ぶりのプラス。22年度の実質GDP成長率は、前年度比1.2%増と2年連続のプラス。

2.鉄鋼需要産業動向

(建設部門)

- ・土木:3月の土木工事受注額は、公共土木が前年同月比1.7%減と8ヵ月ぶりの減少。民間土木は同21.6%減と4ヵ月ぶりの減少。
- ・建築:3月の新設住宅着工戸数は前年同月比3.2%減と2ヵ月連続の減少。非住宅着工床面積は同22.7%減と2ヵ月連続の減少。

(製造業部門)

- ・自動車:3月の四輪車生産は前年同月比20.3%増の86.5万台と3ヵ月連続の増加。2022年度は前年度比7.3%増の810万台と4年ぶりの増加。
- ・産業機械:3月の生産用機械は前年同月比2.8%減と3ヵ月連続の減少、汎用・業務用機械は同7.8%減と2ヵ月連続の減少。
- ・造船:4月の輸出船契約量は前年同月比66.6%減の64万G/Tと2ヵ月連続の減少。4月末の手持工事量は2,218万G/T。

3.鋼材受注

- ・普通鋼:3月の内需は前年同月比6.4%減の307万トンと19ヵ月連続の減少。2022年度の内需は前年度比7.8%減の3,531万トンと2年ぶりの減少。
- ・特殊鋼:3月の内需は前年同月比9.8%減の85万トンと18ヵ月連続の減少。2022年度の内需は前年度比13.8%減の1,018万トンと2年ぶりの減少。

4.鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

- ・粗鋼生産:4月の粗鋼生産(速報)は前年同月比3.1%減の724万トンと16ヵ月連続の減少。
- ・鋼材生産:4月の普通鋼鋼材生産(速報)は、前年同月比3.8%減の492万トンと16ヵ月連続の減少。3月の特殊鋼鋼材生産は、同11.9%減の129万トンと15ヵ月連続の減少(22年度は前年度比10.8%減の1,533万トン、2年ぶりの減少)。
- ・出荷:3月の普通鋼鋼材国内向け出荷は前年同月比5.0%減の352万トンと14ヵ月連続の減少。同月の特殊鋼鋼材国内向け出荷は同10.0%減の97万トンと5ヵ月連続の減少。
- ・在庫:3月末の普通鋼鋼材国内在庫は539万トンと前月末比2ヵ月連続の減少。同月末の特殊鋼鋼材在庫は173万トンと同2ヵ月連続の減少。

5.鋼材輸入、鋼材流通

- ・3月の鋼材輸入は、前年同月比3.0%増の43万トンと2ヵ月連続の増加。2022年度は、前年度比2.0%増の480万トンと2年連続の増加。

6.鉄鋼輸出

- ・4月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比2.3%減の267万トンと2ヵ月連続の減少。

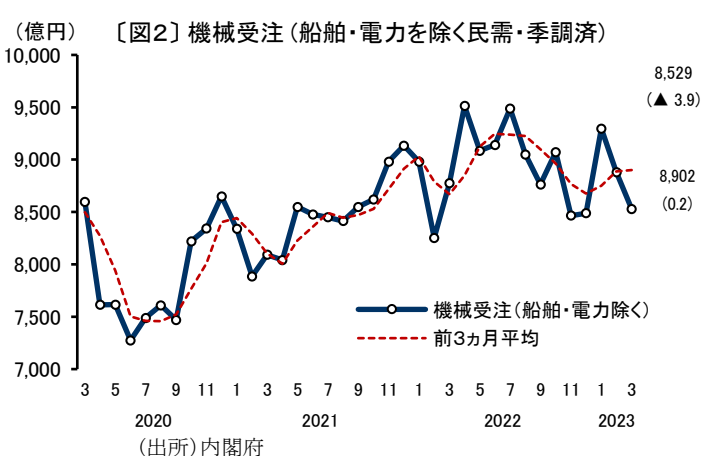
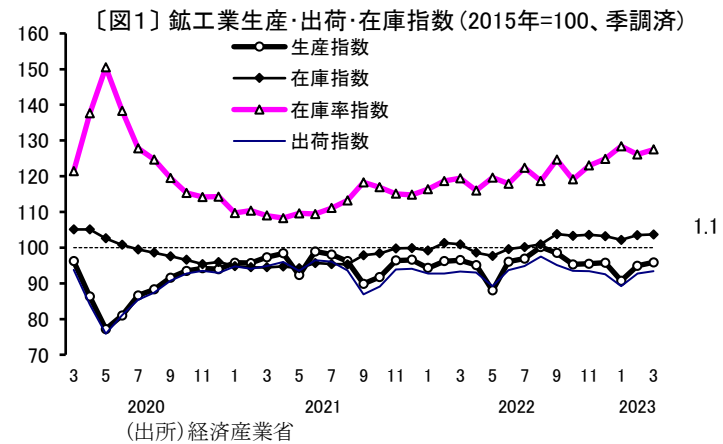
7.海外市場

- ・世界粗鋼生産:4月(worldsteel、63カ国)の粗鋼生産は前年同月比2.4%減の1億6,140万トンと2ヵ月ぶりの減少。
- ・中国:4月(国家統計局)の粗鋼生産は前年同月比1.5%減の9,264万トン(日産量309.3万トン、22年5月311.6万トン以来の高水準)と4ヵ月ぶりの減少も、2ヵ月連続の9,000万トン越え。1～4月累計では前年同期比4.1%増の3億5,439万トン。
- ・4月の鋼材輸出は前年同月比59.4%増の793.2万トンと12ヵ月連続の増加。同月の鋼材輸入は同38.7%減の58.5万トンと24ヵ月連続の減少。

1. 経済動向 -3月の鉱工業生産は2ヵ月連続の上昇、先行きは4月は上昇、5月は低下の見込み-

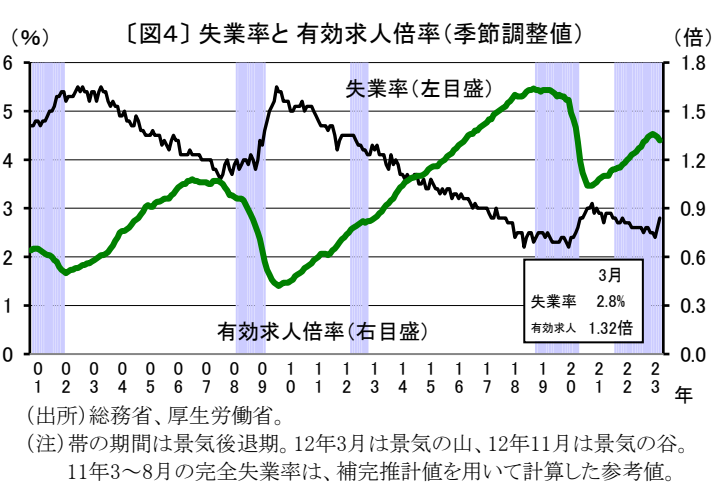
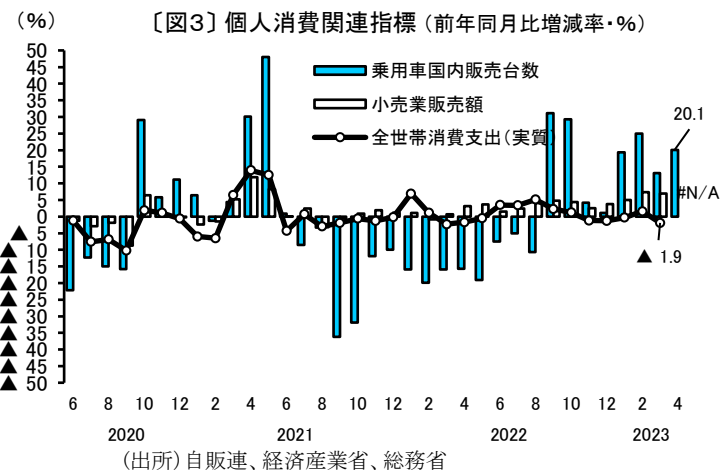
・3月の鉱工業生産は、前月比(季調済。以下、同)1.1%増の95.9と2ヵ月連続で上昇した。業種別にみると、自動車用工業、生産用機械工業等が上昇した。製造工業生産予測調査は、4月は同4.1%増の上昇、5月は2.0%減の低下を予測。基調判断は「生産は緩やかな持ち直しの動き」に上方修正された。出荷(93.4)は同0.8%増、在庫(103.7)は同0.2%増、在庫率(127.5)は同1.1%増と、いずれも上昇した。

・3月の機械受注(船舶・電力を除く民需)は、全体では前月比(季調済。以下、同)3.9%減の8,529億円と2ヵ月連続の減少。内訳は、製造業(2.4%減)は汎用・生産用機械等の減少により2ヵ月ぶりに減少した一方、非製造業(4.5%減)は運輸業・郵便業等の減少により2ヵ月連続の減少となった。基調判断は「足踏みがみられる」に据え置かれた。
 ・2022年度(同)は、前年比4.1%増の10兆7,937億円と2年連続の増加。
 ・1-3月期(同)は前期比2.6%増の2兆6,705億円と3期ぶりの増加。先行きの4-6月期(同)では、同4.6%増の2兆7,926億円が見込まれている。



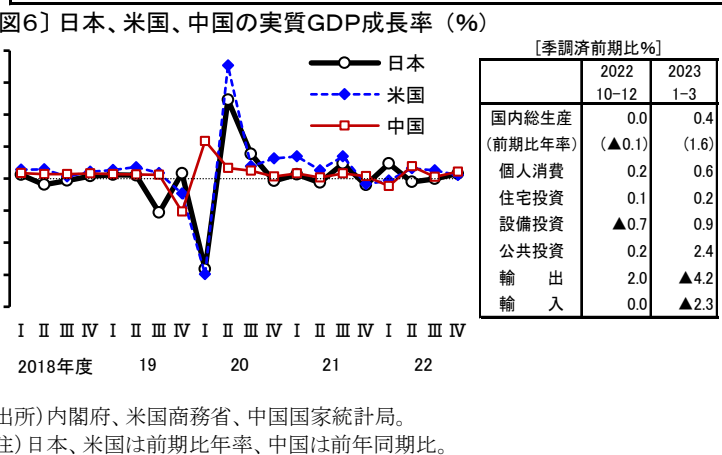
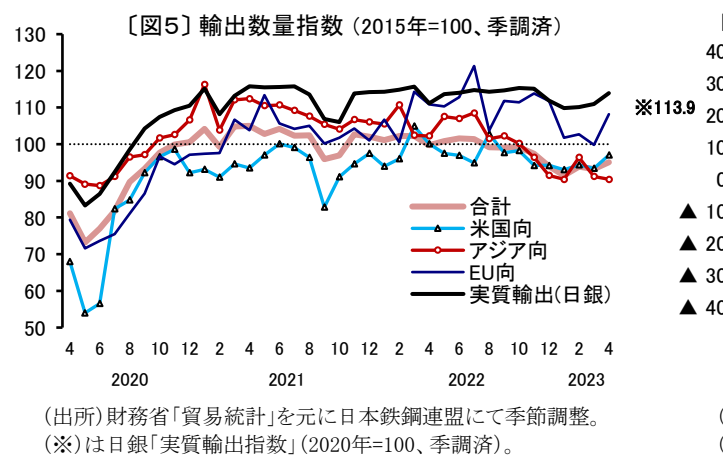
・4月の乗用車販売(除・輸入車)は前年同月比20.1%増と8ヵ月連続の増加。普通車が4ヵ月連続、小型車が3ヵ月連続、軽が8ヵ月連続のプラスとなった。
 ・3月の小売業販売額(速報)は前年同月比7.2%増と13ヵ月連続の増加、同月の全世帯消費支出は前年同月比1.9%減と2ヵ月ぶりの減少となった。

・3月の完全失業率は前月から0.2ポイント上昇の2.8%と2ヵ月連続の悪化。有効求人倍率は前月から0.02ポイント低下の1.32倍。また、新規求人倍率は前月から0.03ポイント低下の2.29倍。



・3月の輸出数量指数(季調済)は前月比0.7%減と2ヵ月ぶりの減少となった。向け先別では、EU向け、アジア向け、米国向けがいずれも2ヵ月ぶりに減少した。
 ・3月の実質輸出(日銀)は前月比1.0%増と2ヵ月連続で増加した。

・1～3月期の実質GDP成長率(一次速報)は、季調済前期比0.4%増と3期ぶりの増加となった(年率換算1.6%増)。内需寄与度は0.7%増と増加した一方、外需寄与度は0.3%減と減少となった。支出項目別には、住宅投資(0.2%増)が2期連続、設備投資(0.9%増)が2期ぶり、公共投資(2.4%増)、個人消費(0.6%増)がともに4期連続の増加となった。輸出入動向では、輸出(4.2%減)、輸入(2.3%減)ともに2期ぶりの減少となった。



2. 鉄鋼需要産業動向

ー4月の四輪車販売は8ヵ月連続のプラスー

<土木>

〇4月の公共土木工事前払金保証請負金額は前年同月比0.6%増の1兆1,686億円、3ヵ月連続の増加
 ・発注者別には、国の機関（4.4%減・4ヵ月ぶり）が減少したものの、地方の機関（4.8%増・3ヵ月連続）が増加し、全体では前年同月比0.6%増の1兆1,686億円と3ヵ月連続の増加となった。

〇3月の公共土木工事受注額は前年同月比1.7%減の2兆6,595億円、8ヵ月ぶりの減少

- ・道路（8.0%増）、鉄道（22.0%増）、電気ガス（約2.3倍）等が増加も、治山治水（10.1%減）等が減少し、全体では前年同月比1.7%減の2兆6,595億円と8ヵ月ぶりの減少となった。
- ・2022年度は、前年度比2.8%増の14兆8,026億円、2年連続して14兆円超えとなった。

〇3月の民間土木工事受注額は前年同月比21.6%減の6,801億円、4ヵ月ぶりの減少

- ・不動産（94.7%増）が増加も、農林漁業（61.2%減）、製造業・鉱業・建設業（5.1%減）等が減少し、全体では前年同月比21.6%減の6,801億円と4ヵ月ぶりの減少となった。
- ・2022年度は、前年度比8.2%増の4兆7,264億円、2年連続して4兆円超えとなった。

<建築>

〇3月の新設住宅着工戸数は前年同月比3.2%減の7.4万戸と2ヵ月連続の減少

- ・利用関係別には、貸家（0.9%増・25ヵ月連続）が増加したものの、持家（13.6%減・16ヵ月連続）、分譲（0.4%減・2ヵ月連続）が減少したことから、全体では3.2%減の7.4万戸と2ヵ月連続で減少した。
- ・2022年度では、前年度比0.6%減の86.1万戸と2年ぶりに減少した。
- ・季節調整済年率換算着工戸数は87.7万戸と、90万戸を7ヵ月連続で下回った。

〇3月の非住宅着工床面積は前年同月比22.7%減の280万㎡と2ヵ月連続の減少

- ・用途別では、鉱工業（16.2%減）、商業・サービス（14.2%減）、公益事業（44.6%減）、公務文教（18.4%減）が減少したことから、全体では22.7%減の280万㎡と2ヵ月連続の減少となった。
- ・使途別では、事務所（8.2%減）、店舗（3.0%減）、工場（18.4%減）、倉庫（47.0%減）がいずれも減少した。
- ・2022年度では、前年度比2.4%減の4,690万㎡と2年ぶりの減少となった。
- ・季節調整済年率換算着工床面積は3,516万㎡と、2021年8月（3,854万㎡）以来19ヵ月ぶりに4千万㎡を下回った。

〔表1〕建設関連統計指標

（単位：億円、千戸、%）

	公共土木工事前払金保証請負金額			土木工事受注額		新設住宅着工戸数					年率換算 着工戸数
		国の機関	地方	公共	民間	合計	持家	貸家	分譲	(マンション)	
2021年度	85,438	29,269	56,169	144,493	43,685	865.9	281.3	330.8	248.4	102.8	-
2022年度	83,679	29,180	54,500	148,026	47,264	860.8	248.1	347.4	259.5	113.9	-
2022年 1- 3月	16,252	5,841	10,411	43,294	13,900	200.4	57.6	79.0	62.8	27.4	873.1
4- 6月	27,997	12,588	15,409	29,230	11,000	218.1	65.6	85.8	65.5	28.1	852.6
7- 9月	22,945	5,834	17,111	40,262	10,654	224.8	67.0	91.6	64.6	27.2	861.9
10-12月	13,847	2,652	11,195	31,423	10,743	216.2	63.1	88.7	62.7	25.5	851.6
2023年 1- 3月	18,891	8,106	10,785	47,112	14,866	201.7	52.5	81.3	66.8	33.1	876.2
2023年 2月	6,029	3,261	2,768	12,451	5,094	64.4	18.4	24.7	21.1	9.8	859.2
3月	9,845	3,979	5,866	26,595	6,801	73.7	17.5	32.6	23.1	11.4	876.7
4月	11,686	5,029	6,657	-	-	-	-	-	-	-	-
2021年度	▲9.3	▲11.9	▲7.9	▲4.1	▲1.1	6.6	6.9	9.2	3.9	▲5.0	-
2022年度	▲2.1	▲0.3	▲3.0	2.4	8.2	▲0.6	▲11.8	5.0	4.5	10.8	-
2022年 1- 3月	▲11.2	▲16.6	▲7.8	▲5.7	▲0.5	4.9	▲6.9	13.5	7.6	5.7	1.6
4- 6月	▲6.1	▲8.5	▲4.1	▲12.0	9.1	▲1.3	▲8.9	2.5	2.7	3.2	▲2.3
7- 9月	▲5.5	▲11.7	▲3.2	5.1	5.9	0.0	▲12.8	6.3	7.1	11.6	1.1
10-12月	▲8.2	▲13.5	▲6.8	6.0	11.4	▲1.6	▲15.7	8.4	1.8	7.3	▲1.2
2023年 1- 3月	16.2	38.8	3.6	8.8	6.9	0.6	▲8.9	3.0	6.5	20.8	2.9
2023年 2月	72.3	184.0	17.7	39.4	63.1	▲0.3	▲4.6	4.7	▲1.8	0.2	▲3.8
3月	1.4	3.1	0.2	▲1.7	▲21.6	▲3.2	▲13.6	0.9	▲0.4	7.2	2.0
4月	0.6	▲4.4	4.8	-	-	-	-	-	-	-	-
1月からの累計	30,576	13,135	17,441	47,112	14,866	201.7	52.5	81.3	66.8	33.1	-
前年同期	27,866	11,102	16,763	43,294	13,900	200.4	57.6	79.0	62.8	27.4	-
増減量	2,711	2,033	678	3,818	966	1.3	▲5.2	2.3	4.1	5.7	-
前年同期比	9.7	18.3	4.0	8.8	6.9	0.6	▲8.9	3.0	6.5	20.8	-

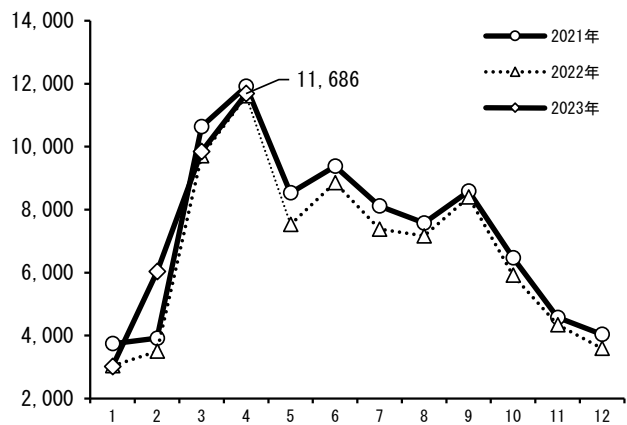
（出所）保証事業会社協会、国土交通省

（注）1. 土木工事受注額の公共土木は公共工事計から教育病院・住宅宿舍・庁舎その他を除いたもの。

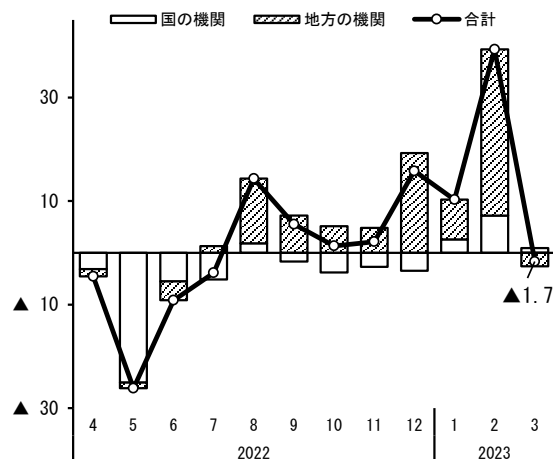
2. 年率換算着工戸数は前月（期）比増減率。

3. 土木工事受注額は、2021年4月より推計方法が変更されたため、それ以前とは接続しない。

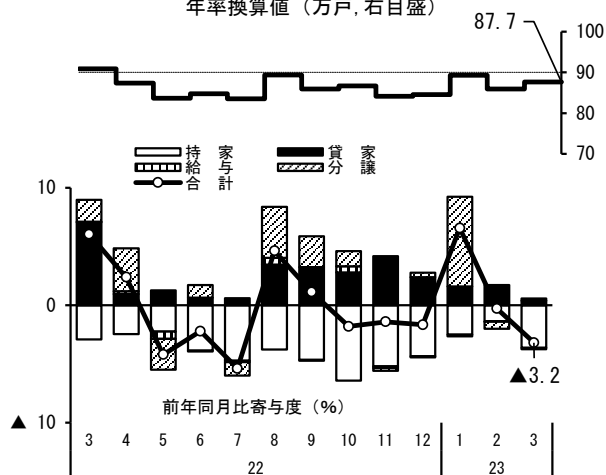
〔図 7〕 公共土木工事前払金保証請負金額（億円）



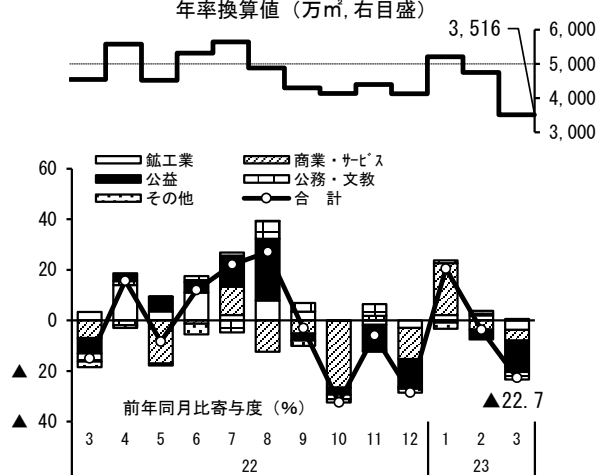
〔図 8〕 公共土木工事受注額（前年同月比寄与度・%）



〔図 9〕 新設住宅着工戸数
年率換算値（万戸、右目盛）



〔図 10〕 非住宅用途別着工床面積
年率換算値（万㎡、右目盛）



（単位：万㎡、%）

	建築着工床面積計	居住用	非居住用	用途別				使 途 別				鋼構造建築着工床面積		
				（鉱工業）	（商業・サービス）	（公益事業）	（公務文教）	（事務所）	（店 舗）	（工 場）	（倉 庫）	SRC	RC	S
2021年度	12,247	7,441	4,806	952	1,720	1,120	723	759	419	724	1,339	197	2,129	4,558
2022年度	11,872	7,182	4,690	1,099	1,481	1,124	738	600	427	874	1,281	238	2,458	4,197
2022年 1～3月	2,764	1,706	1,058	227	322	309	155	114	95	180	333	47	546	1,030
4～6月	3,202	1,845	1,357	352	380	360	191	150	115	293	418	73	661	1,170
7～9月	3,137	1,882	1,255	268	377	328	209	172	106	201	361	45	643	1,109
10～12月	2,844	1,794	1,050	252	364	189	188	135	101	201	217	52	509	1,009
2023年 1～3月	2,689	1,662	1,027	227	359	247	151	144	105	179	285	69	644	909
2023年 1月	928	538	390	75	153	97	56	70	41	59	113	40	250	299
2月	902	545	357	81	116	94	48	36	33	65	114	6	194	343
3月	860	579	280	71	91	56	46	38	30	55	58	22	200	267
2021年度	7.1	7.3	7.0	18.9	5.3	18.2	▲11.0	24.7	3.1	21.9	12.8	3.9	▲1.3	13.2
2022年度	▲3.1	▲3.5	▲2.4	15.4	▲13.9	0.4	2.0	▲20.9	1.9	20.7	▲4.3	21.0	15.4	▲7.9
2022年 1～3月	0.8	3.9	▲3.7	20.0	▲21.6	21.8	▲16.9	▲22.7	▲8.3	30.2	7.4	34.8	3.4	2.7
4～6月	0.7	▲3.2	6.4	52.3	▲15.9	18.2	▲0.7	▲18.7	▲2.1	47.4	21.1	80.3	16.9	▲1.5
7～9月	4.1	▲2.2	15.1	21.3	▲3.1	54.6	8.0	▲1.7	9.6	31.7	38.0	23.8	24.1	7.1
10～12月	▲13.5	▲5.9	▲24.0	▲7.9	▲34.7	▲35.7	2.5	▲52.8	▲7.6	3.9	▲45.5	▲28.6	1.9	▲22.6
2023年 1～3月	▲2.7	▲2.6	▲2.9	0.1	11.7	▲20.2	▲2.8	26.2	9.9	▲0.1	▲14.3	44.4	18.1	▲11.7
2023年 1月	7.6	▲0.1	20.4	10.0	76.9	▲2.8	6.5	73.1	63.9	22.3	12.1	178.8	71.5	▲14.0
2月	▲2.2	▲1.2	▲3.8	9.9	▲10.5	▲13.3	6.2	11.0	▲15.0	2.2	▲7.3	▲74.7	1.0	3.5
3月	▲12.2	▲6.0	▲22.7	▲16.2	▲14.2	▲44.6	▲18.4	▲8.2	▲3.0	▲18.4	▲47.0	123.3	▲3.7	▲23.9
4月からの累計	11,872	7,182	4,690	1,099	1,481	1,124	738	600	427	874	1,281	238	2,458	4,197
前年同期	12,247	7,441	4,806	952	1,720	1,120	723	759	419	724	1,339	197	2,129	4,558
増 減 量	▲375	▲259	▲116	147	▲239	4	14	▲159	8	150	▲57	41	329	▲361
前年同期比	▲3.1	▲3.5	▲2.4	15.4	▲13.9	0.4	2.0	▲20.9	1.9	20.7	▲4.3	21.0	15.4	▲7.9

<自動車>－3月の四輪車生産は3ヵ月連続のプラス

○4月の国内販売（輸入車除く）は前年同月比18.1%増の33.0万台と8ヵ月連続のプラス

- ・ 4月の国内販売（輸入車除く）は、乗用車（20.1%増）は、普通車が4ヵ月連続、小型車が3ヵ月連続、軽が8ヵ月連続のプラスとなったことから、全体では8ヵ月連続のプラスとなった。トラック（9.3%増）は、普通車が4ヵ月連続、小型車が5ヵ月連続、軽が10ヵ月連続のプラスとなり、全体では8ヵ月連続のプラスとなった。バス（39.1%増）は、6ヵ月連続のプラス。四輪車計（輸入車除く）では、前年同月比18.1%増の33.0万台と8ヵ月連続のプラスとなった。

○3月の完成車輸出は前年同月比19.7%増の38.5万台と2ヵ月連続のプラス

- ・ 3月の完成車輸出は、アジア向け（8.2%減）が減少したものの、中近東向け（36.3%増）、欧州向け（38.5%増）、北米向け（33.5%増）、オセアニア向け（0.7%増）が増加したことから、全体では前年同月比19.7%増の38.5万台と2ヵ月連続のプラスとなった。
- ・ 22年度の完成車輸出は、アジア向け、北米向け、オセアニア向けが減少したものの、中近東向け、欧州向けが増加したことから、全体では前年度比4.9%増の386万台となり、2年連続のプラスとなった。
- ・ 4月の米国新車販売は、前年同月比9.0%増の135.6万台と9ヵ月連続のプラス。季調済・年率換算では1,591万台となった。また、同月の中国新車販売（中国汽车工业协会発表）は、前年同月比82.7%増の216万台と3ヵ月連続のプラスとなった。

○3月の生産は前年同月比20.3%増の86.5万台と3ヵ月連続のプラス

- ・ 3月の生産は、乗用車（22.8%増）は、普通車（3ヵ月連続増）、小型車（2ヵ月ぶり増）、軽（10ヵ月連続増）がいずれもプラスとなったことから、全体では3ヵ月連続のプラスとなった。トラック（3.7%増）は、普通車が2ヵ月連続、小型車が7ヵ月ぶりにマイナスとなったものの、軽が2ヵ月ぶりにプラスとなったことから、全体では2ヵ月ぶりのプラスとなった。四輪車合計では前年同月比20.3%増の86.5万台と3ヵ月連続のプラスとなった。
- ・ 22年度の生産は、乗用車、トラックがともに増加したことから、全体では前年度比7.3%増の810万台となり、4年ぶりのプラスとなった。

〔表2〕四輪車国内販売台数

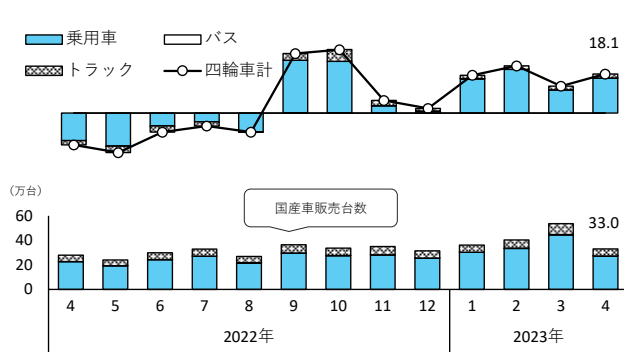
（単位：千台、％）

	四輪車計	国産車販売									輸 入	国 内 販売計
		乗用車	普通車	小型車	軽四輪	トラック	普通車	小型車	軽四輪	バ ス		
2021年度	3,890	3,172	1,092	899	1,181	713	135	203	374	6	325	4,216
2022年度	4,078	3,338	1,203	862	1,272	734	114	200	420	6	308	4,386
2022年 1- 3月	1,115	915	320	258	337	198	32	54	112	2	82	1,197
4- 6月	817	661	218	178	265	156	24	45	87	1	72	889
7- 9月	961	781	286	201	295	179	28	46	105	1	74	1,035
10-12月	998	813	266	218	328	184	26	47	110	1	82	1,081
2023年 1- 3月	1,301	1,083	433	265	385	216	36	62	119	2	80	1,382
2023年 2月	402	335	135	80	120	67	11	19	37	1	24	427
3月	537	446	186	113	148	90	17	27	46	1	36	572
P 4月	330	272	110	65	96	57	9	15	33	*	20	350
2021年度	▲10.0	▲10.6	▲1.8	▲16.1	▲13.3	▲7.1	▲11.0	▲7.5	▲5.3	▲21.9	▲3.1	▲9.5
2022年度	4.8	5.2	10.2	▲4.0	7.7	3.1	▲15.8	▲1.5	12.4	▲3.9	▲5.4	4.0
2022年 1- 3月	▲16.1	▲17.1	▲11.3	▲17.2	▲21.9	▲10.7	▲26.6	▲14.7	▲2.4	▲27.3	▲18.9	▲16.3
4- 6月	▲13.9	▲14.0	▲12.9	▲18.4	▲11.7	▲13.5	▲29.4	▲9.5	▲10.0	▲36.9	▲16.0	▲14.1
7- 9月	3.3	4.0	8.8	▲7.2	8.3	0.8	▲26.9	▲15.8	24.2	▲19.1	▲14.1	1.9
10-12月	11.4	10.3	2.9	5.8	20.8	16.5	▲15.6	5.6	34.7	6.6	14.1	11.6
2023年 1- 3月	16.7	18.3	35.2	2.9	14.1	9.4	11.6	14.3	6.3	23.2	▲2.5	15.4
2023年 2月	22.0	25.0	52.5	8.3	13.8	8.7	8.2	19.3	4.1	45.5	▲1.9	20.3
3月	12.5	13.0	31.2	1.2	4.2	9.7	20.6	11.0	5.6	17.3	0.1	11.6
4月	18.1	20.1	46.4	8.2	6.3	9.3	12.5	6.0	10.1	39.1	▲2.7	16.7
1月からの累計	1,631	1,355	543	331	481	273	44	77	152	3	100	1,731
前年同期	1,394	1,142	395	318	428	250	40	69	142	2	103	1,497
増 減 量	237	213	147	12	53	23	5	9	10	1	▲3	234
前年同期比	17.0	18.7	37.3	3.9	12.4	9.4	11.7	12.6	7.1	25.6	▲2.6	15.7

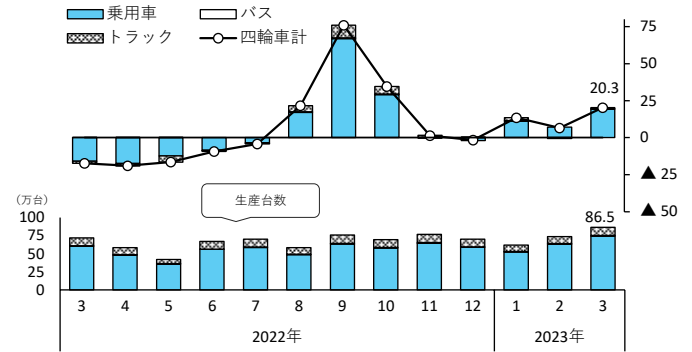
（出所）日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

（注）車種区分は、登録者は03年1月実績より、軽自動車は04年1月実績より、それぞれ従来のシャシーベースからナンバーベースへ変更された。

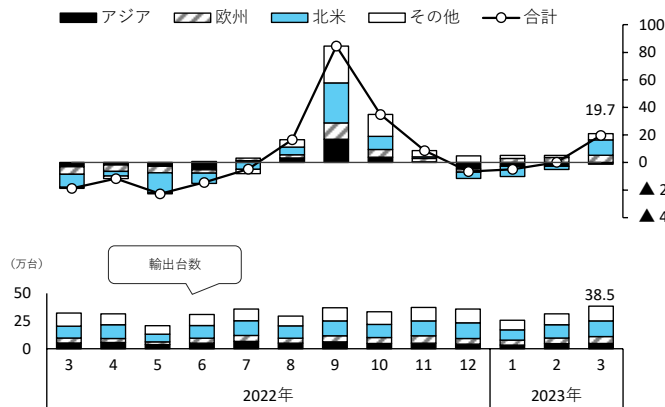
〔図 11〕国産車販売台数・前年同月比寄与度(%)



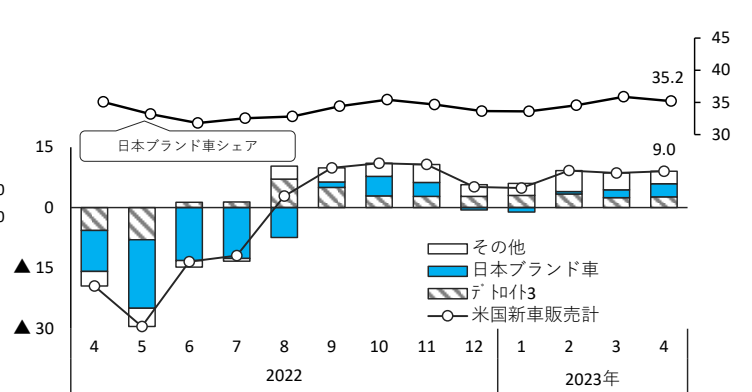
〔図 12〕四輪車生産台数・前年同月比寄与度(%)



〔図 13〕四輪車輸出台数・前年同月比寄与度(%)



〔図 14〕米国新車販売台数・前年同月寄与度(%)



〔表 3〕四輪車仕向地別輸出・生産台数

(単位：千台、%)

	合 計	輸 出							生 産			米国新車販売台
		アジア	中近東	欧州	(EU)	北 米	(米国)	オセアニア	四輪車計	乗用車	トラック	
2021年度	3,684	589	332	544	285	1,442	1,288	429	7,545	6,340	1,130	15,003
2022年度	3,864	577	464	592	404	1,438	1,283	409	8,099	6,815	1,194	14,482
2022年 1- 3月	903	144	92	122	60	344	305	108	1,960	1,649	292	3,321
4- 6月	829	140	95	109	73	310	277	92	1,673	1,399	255	3,497
7- 9月	1,020	176	107	153	103	379	341	107	2,042	1,707	314	3,398
10-12月	1,061	137	131	172	118	397	361	111	2,160	1,812	323	3,592
2023年 1- 3月	954	124	131	159	109	352	304	99	2,224	1,897	302	3,576
2023年 2月	313	45	41	50	37	120	102	31	739	631	100	1,151
3月	385	47	59	63	43	142	120	38	865	743	111	1,376
4月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,356
2021年度	0.4	2.5	7.1	▲14.7	▲22.3	▲3.9	▲5.0	14.8	▲5.3	▲7.3	6.2	0.0
2022年度	4.9	▲2.0	39.9	8.9	41.8	▲0.3	▲0.4	▲4.7	7.3	7.5	5.7	▲3.5
2022年 1- 3月	▲13.0	▲13.5	▲13.7	▲27.0	▲39.7	▲13.5	▲12.6	▲5.2	▲13.3	▲14.5	▲7.6	▲15.4
4- 6月	▲15.7	▲18.9	8.6	▲25.8	▲11.7	▲20.0	▲16.9	▲15.2	▲14.7	▲15.2	▲12.7	▲21.2
7- 9月	23.3	37.2	42.2	31.2	80.7	16.4	15.1	5.4	24.4	25.2	20.1	▲0.6
10-12月	9.3	▲4.7	70.4	8.2	39.6	2.9	2.3	▲0.6	9.0	8.0	13.3	8.7
2023年 1- 3月	5.6	▲13.9	42.3	30.4	81.7	2.5	▲0.4	▲7.9	13.5	15.1	3.6	7.6
2023年 2月	0.2	▲15.8	48.8	30.0	104.7	▲5.6	▲8.7	▲11.3	6.5	8.4	▲3.6	9.2
3月	19.7	▲8.2	36.3	38.5	81.5	33.5	28.7	0.7	20.3	22.8	3.7	8.6
4月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.0
1月からの累計	954	124	131	159	109	352	304	99	2,224	1,897	302	4,932
前年同期	903	144	92	122	60	344	305	108	1,960	1,649	292	4,565
増 減 量	51	▲20	39	37	49	9	▲1	▲9	264	248	10	366
前年同期比	5.6	▲13.9	42.3	30.4	81.7	2.5	▲0.4	▲7.9	13.5	15.1	3.6	8.0

(出所) 経済産業省、日本自動車工業会、ウォード自動車情報社

(注) 1. 輸出のEU向けは、日本自動車工業会の公表値を採用しており、2020年2月以降は英国を除く27カ国計である。

2. 輸出については、17年12月より一部トラックメーカーの数値が含まれていない。生産については、17年12月より日本自動車工業会公表値に一部トラックメーカーの数値が含まれなくなったため、同月より経済産業省の公表値を使用

<産業機械>

○3月の受注は前年同月比1.2%減と2ヵ月連続の減少

- ・官公需（2.6%増・3ヵ月連続）が増加も、民需（0.2%減・3ヵ月ぶり）、外需（2.7%減・4ヵ月連続）が減少した。外需では、原動機（3.1%減・3ヵ月ぶり）、産業機械（1.6%減・4ヵ月連続）、工作機械（9.3%減・3ヵ月連続）がいずれも減少した。
- ・2022年度は前年度比4.4%増の14兆1,625億円と3年連続の増加となった。

○3月の生産用機械工業の生産は前年同月比2.8%減と3ヵ月連続の減少。また、汎用・業務用機械工業の生産は同7.8%減と2ヵ月連続の減少

- ・生産用機械工業の生産を機種別にみると、建設・鉱山機械（1.6%増・2ヵ月連続）、金属加工・工作機械（0.7%増・25ヵ月連続）、化学機械（21.8%増・3ヵ月ぶり）が増加したものの、農業用機械（25.0%減・5ヵ月連続）が減少したことから、全体では前年同月比2.8%減と3ヵ月連続の減少となった。
- ・汎用・業務用機械工業の生産を機種別にみると、ボイラ・原動機（22.1%増・3ヵ月ぶり）が増加したものの、運搬装置（40.4%減・2ヵ月連続）、冷凍機・温湿調整装置（8.7%減・4ヵ月連続）が減少したことから、全体では前年同月比7.8%減と2ヵ月連続の減少となった。

<電気機械>

○3月の生産は、電子部品の減少等から前年同月比6.2%減と6ヵ月連続の減少

- ・重電機は、前年同月比0.3%増と3ヵ月連続の増加となった。品目別には、回転電機（2.5%減・4ヵ月連続）、開閉制御装置（2.1%減・2ヵ月連続）が減少も、静止電機（14.4%増・9ヵ月連続）が増加となった。
- ・家庭用電気機器は、民生用電機（5.4%減・9ヵ月ぶり）が減少に転じたものの、民生用電子（14.8%増・3ヵ月連続）が増加したことから、全体では前年同月比0.4%増と9ヵ月連続の増加となった。

<造船>4月の手持工事量は前月末比0.1%増の2,218万G/Tと5ヵ月連続の増加

○3月の起工量は前年同月比28.0%減の62万G/Tと4ヵ月ぶりの減少となった。

2022年度の起工量は前年度比0.7%増の878万G/T、3年ぶりの増加となった。

○4月の輸出船契約量は前年同月比66.6%減の64万G/Tと2ヵ月連続の減少となった。

○4月末の手持工事量は前月末比0.1%増の2,218万G/Tと5ヵ月連続の増加となった。

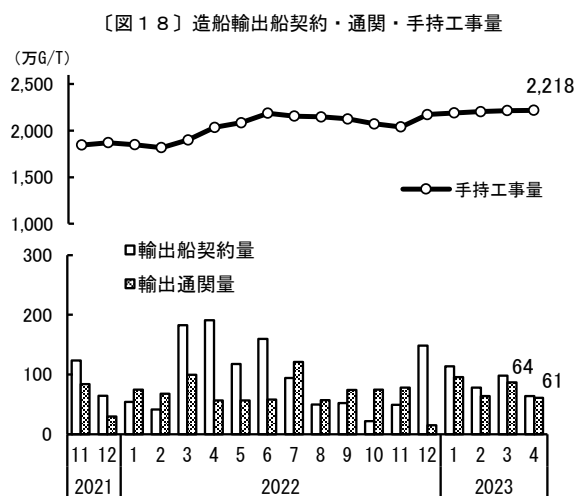
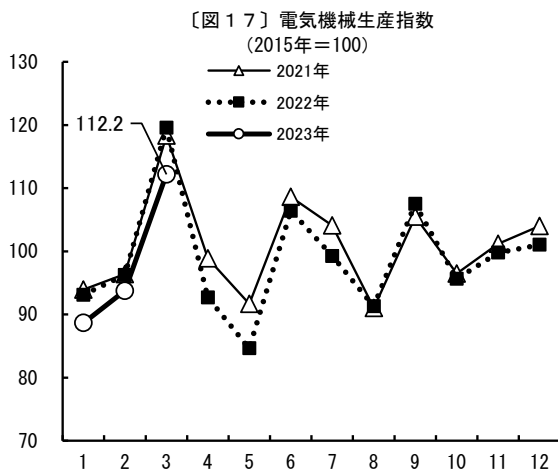
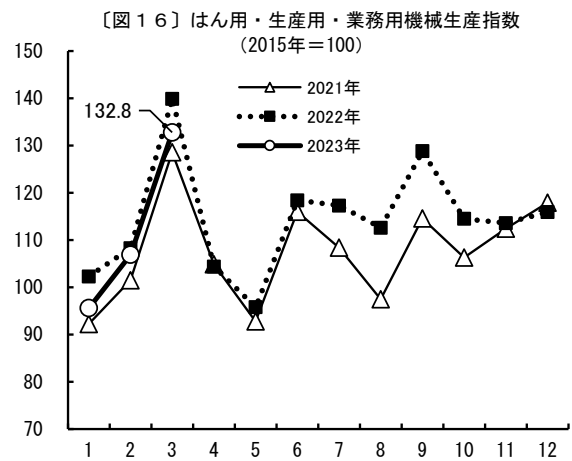
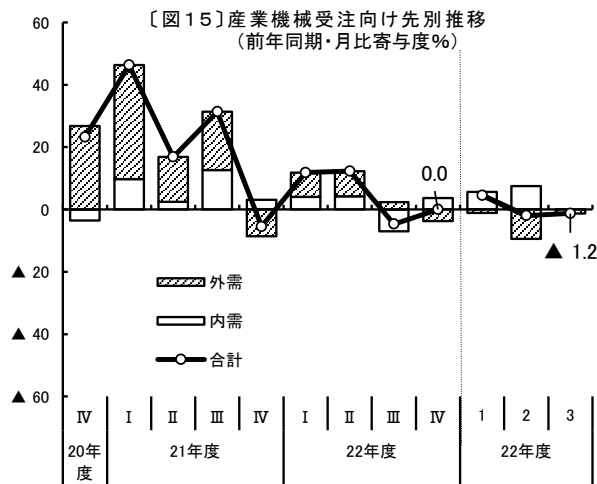
〔表4〕 産 業 機 械 活 動 水 準

（単位：億円、IIP<15年=100>、%）

	合 計	受 注 額			IIP								
		民 需	官公需	外 需	生産用 機械工業	農業用 機械	建設・鉱山 機械	化学機械	金属加工 工作機械	汎用・業務用 機械工業	ボイラ・ 原動機	運搬装置	冷凍機・温湿 調整装置
2021年度	135,689	55,995	7,987	66,606	119.1	97.3	119.3	61.0	66.0	101.4	77.8	103.8	107.8
2022年度	141,625	57,065	8,376	71,068	124.0	86.6	120.8	71.4	76.4	102.4	83.4	101.9	107.1
2022年 1- 3月	37,356	15,238	2,005	18,878	128.7	100.8	124.8	63.3	75.3	105.3	76.9	132.5	109.9
4- 6月	34,818	14,048	1,857	17,655	116.2	84.7	104.6	56.5	70.8	96.5	76.1	79.7	107.3
7- 9月	35,572	14,286	2,277	17,670	133.6	96.9	118.9	88.2	77.2	106.0	97.8	109.0	110.4
10-12月	33,877	12,556	1,732	18,242	124.9	88.4	136.2	73.0	76.7	104.8	79.0	108.4	108.4
2023年 1- 3月	37,358	16,174	2,509	17,500	121.4	76.5	123.5	67.8	80.7	102.4	80.6	110.4	102.2
2023年 1月	9,888	4,026	336	5,186	98.7	61.9	104.2	44.0	69.3	92.6	61.3	114.4	89.9
2月	11,138	4,683	999	5,078	116.1	75.0	125.6	59.9	80.2	97.9	72.1	89.8	102.8
3月	16,331	7,466	1,175	7,236	149.5	92.5	140.8	99.4	92.7	116.6	108.3	127.0	113.8
2021年度	18.0	13.5	3.3	25.1	21.3	20.2	24.3	▲16.3	24.9	13.0	12.7	7.7	10.1
2022年度	4.4	1.9	4.9	6.7	4.1	▲11.0	1.3	17.0	15.6	1.0	7.1	▲1.8	▲0.7
2022年 1- 3月	▲5.5	6.7	14.2	▲15.2	11.0	6.4	14.0	▲32.9	21.6	6.1	10.4	20.4	▲2.6
4- 6月	11.9	8.6	10.5	16.0	4.5	▲15.9	▲10.0	7.4	13.3	▲1.7	▲2.9	3.2	▲6.1
7- 9月	12.3	8.1	8.7	17.0	16.8	2.2	6.6	36.0	22.7	6.4	22.9	15.0	9.9
10-12月	▲4.7	▲14.0	▲21.5	4.8	2.2	▲4.8	9.3	15.5	20.8	2.3	3.2	▲2.0	1.8
2023年 1- 3月	0.0	6.1	25.2	▲7.3	▲5.6	▲24.2	▲1.0	7.1	7.2	▲2.8	4.8	▲16.7	▲7.0
2023年 1月	4.5	16.2	3.0	▲1.9	▲13.4	▲26.5	▲8.1	▲4.3	11.1	2.0	▲5.5	26.4	▲5.8
2月	▲1.9	9.1	87.2	▲17.4	▲1.8	▲21.0	2.6	▲3.9	12.3	▲0.8	▲6.4	▲4.4	▲6.2
3月	▲1.2	▲0.2	2.6	▲2.7	▲2.8	▲25.0	1.6	21.8	0.7	▲7.8	22.1	▲40.4	▲8.7
4月からの累計	141,625	57,065	8,376	71,068	124.0	86.6	120.8	71.4	76.4	102.4	83.4	101.9	107.1
前年同期	135,689	55,995	7,987	66,606	119.1	97.3	119.3	61.0	66.0	101.4	77.8	103.8	107.8
増 減 量	5,936	1,070	389	4,462	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前年同期比	4.4	1.9	4.9	6.7	4.1	▲11.0	1.3	17.0	15.6	1.0	7.1	▲1.8	▲0.7

（出所）経済産業省、内閣府

（注）受注額は内閣府「機械受注実績」の原動機＋産業機械＋工作機械。



〔表5〕電気機械、造船活動水準

(単位:IIP<15年=100>・%、千G/T、%)

	I I P							造 船				
	電気機械	重電機	家庭用 電気機器	民生用電機	民生用電子	通信機械	電子 部 品	起工量	竣工量	輸出船 契約量	輸出通関 実績	手持ち 工事量
2021年度	100.9	96.6	79.8	88.2	65.9	74.9	126.7	8,724	9,875	14,300	9,254	19,012
2022年度	97.7	98.7	83.3	93.2	66.7	77.7	94.6	8,784	9,093	11,741	8,382	22,156
2022年 1- 3月	103.0	104.7	79.8	88.6	65.0	69.4	111.9	2,189	2,712	2,782	2,421	19,012
4- 6月	94.6	90.2	83.3	99.2	56.7	49.8	108.8	2,392	2,183	4,681	1,712	21,880
7- 9月	99.3	98.2	84.8	96.5	65.2	79.8	103.0	1,855	2,258	1,962	2,529	21,266
10-12月	98.8	101.0	82.0	89.0	70.3	80.0	92.5	2,041	2,009	2,194	1,675	21,732
2023年 1- 3月	98.2	105.6	83.0	88.1	74.4	101.0	74.1	2,495	2,643	2,904	2,466	22,156
2023年 2月	93.8	95.6	81.1	86.8	71.6	88.5	68.0	1,113	659	784	637	22,050
3月	112.2	131.6	91.4	97.7	80.9	145.0	78.0	618	1,009	982	871	22,156
4月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	638	611	22,181
2021年度	7.8	7.1	▲9.4	▲8.0	▲12.3	0.2	2.7	▲8.3	▲15.2	59.8	▲8.9	25.7
2022年度	▲3.1	2.2	4.3	5.7	1.2	3.7	▲25.3	0.7	▲7.9	▲17.9	▲9.4	16.5
2022年 1- 3月	0.1	1.9	▲10.6	▲7.3	▲17.3	▲31.4	▲13.4	19.1	▲20.5	▲24.6	▲22.1	1.6
4- 6月	▲5.1	▲2.9	▲12.4	▲10.5	▲17.8	▲36.1	▲17.4	3.2	▲6.1	▲15.6	▲24.3	15.1
7- 9月	▲0.8	6.0	20.2	25.2	9.3	1.4	▲24.7	▲0.8	▲17.3	▲34.0	▲6.3	▲2.8
10-12月	▲1.7	5.1	11.2	16.8	0.8	8.8	▲26.8	▲13.0	▲4.6	▲26.7	▲10.4	2.2
2023年 1- 3月	▲4.6	0.9	4.0	▲0.6	14.5	45.6	▲33.8	14.0	▲2.5	4.4	1.9	2.0
2023年 2月	▲2.6	0.5	7.8	4.7	14.6	40.4	▲35.8	26.3	29.1	89.6	▲6.2	0.7
3月	▲6.2	0.3	0.4	▲5.4	14.8	50.4	▲34.3	▲28.0	▲9.2	▲46.3	▲12.3	0.5
4月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲66.6	7.9	0.1
1月からの累計	98.2	105.6	83.0	88.1	74.4	101.0	74.1	2,495	2,643	3,542	3,077	-
前年同期	103.0	104.7	79.8	88.6	65.0	69.4	111.9	2,189	2,712	4,690	2,987	-
増 減 量	-	-	-	-	-	-	-	306	▲68	▲1,148	90	-
前年同期比	▲4.6	0.9	4.0	▲0.6	14.5	45.6	▲33.8	14.0	▲2.5	▲24.5	3.0	-

(出所) 経済産業省、国土交通省、日本船舶輸出組合

(注) 1. 電気機械工業IIPは、電子部品・デバイス工業+電気・情報通信機械工業を加重平均したもの。

2. 民生用電機IIPは、家事用機器+空調・住宅関連機器を加重平均したもの。

3. 造船起工量、竣工量は速報で主要工場ベース。

4. 手持ち工事量は前月(期)末比増減率。

**－2022 年度の普通鋼鋼材受注（内需計）は前年度比 7.8%減の 3,531 万
トンと 2 年ぶりの減少－**

3. 鋼材受注

〇3 月の普通鋼鋼材受注（内需計）は、前年同月比 6.4%減の 307 万トンと 19 ヶ月連続の減少。

- ・建設用（7.6%減）は、土木（0.5%減・11 ヶ月連続）、建築（6.2%減・11 ヶ月連続）、その他建設（18.6%減・15 ヶ月連続）がいずれも減少したことから、全体では 11 ヶ月連続の減少となった。

※その他建設用：建築金物、建築用付属資材（配管・配線用、サッシ、シャッター等）、仮設材（足場鋼管、メタルフォーム等）など。

- ・製造業用（6.8%減）は、自動車（5.2%増・4 ヶ月ぶり）が増加したものの、造船（7.1%減、2 ヶ月ぶり）、産機（13.9%減・10 ヶ月連続）、電機（5.1%減・8 ヶ月連続）が減少したことから、全体では 5 ヶ月連続の減少となった。
- ・建設向けのウェイトが高い販売業者向け（5.0%減）は 11 ヶ月連続の減少となった。
- ・内需全体（6.4%減）では 19 ヶ月連続の減少となった。
- ・輸出向け（3.4%減）は 4 ヶ月ぶりの減少となった。
- ・2022 年度計では、内需は建設用（9.7%減）、製造業用（6.3%減）とも前年実績を下回ったため、前年度比 7.8%減の 3,531 万トンと、2 年ぶりに減少した。

〇3 月の特殊鋼鋼材受注（内需計）は、前年同月比 9.8%減の 85 万トンと 18 ヶ月連続の減少。

- ・製造業用（8.1%減）は、産機（1.1%減・12 ヶ月連続）、自動車（6.7%減・5 ヶ月連続）、次工程（11.3%減・15 ヶ月連続）がいずれも減少したことから、全体では 18 ヶ月連続の減少となった。
- ・内需全体（9.8%減）では 18 ヶ月連続の減少となった。
- ・輸出向け（11.9%減）は 5 ヶ月連続の減少となった。
- ・2022 年度の内需計は、前年度比 13.8%減の 1,018 万トンと 2 年ぶりの減少となった。

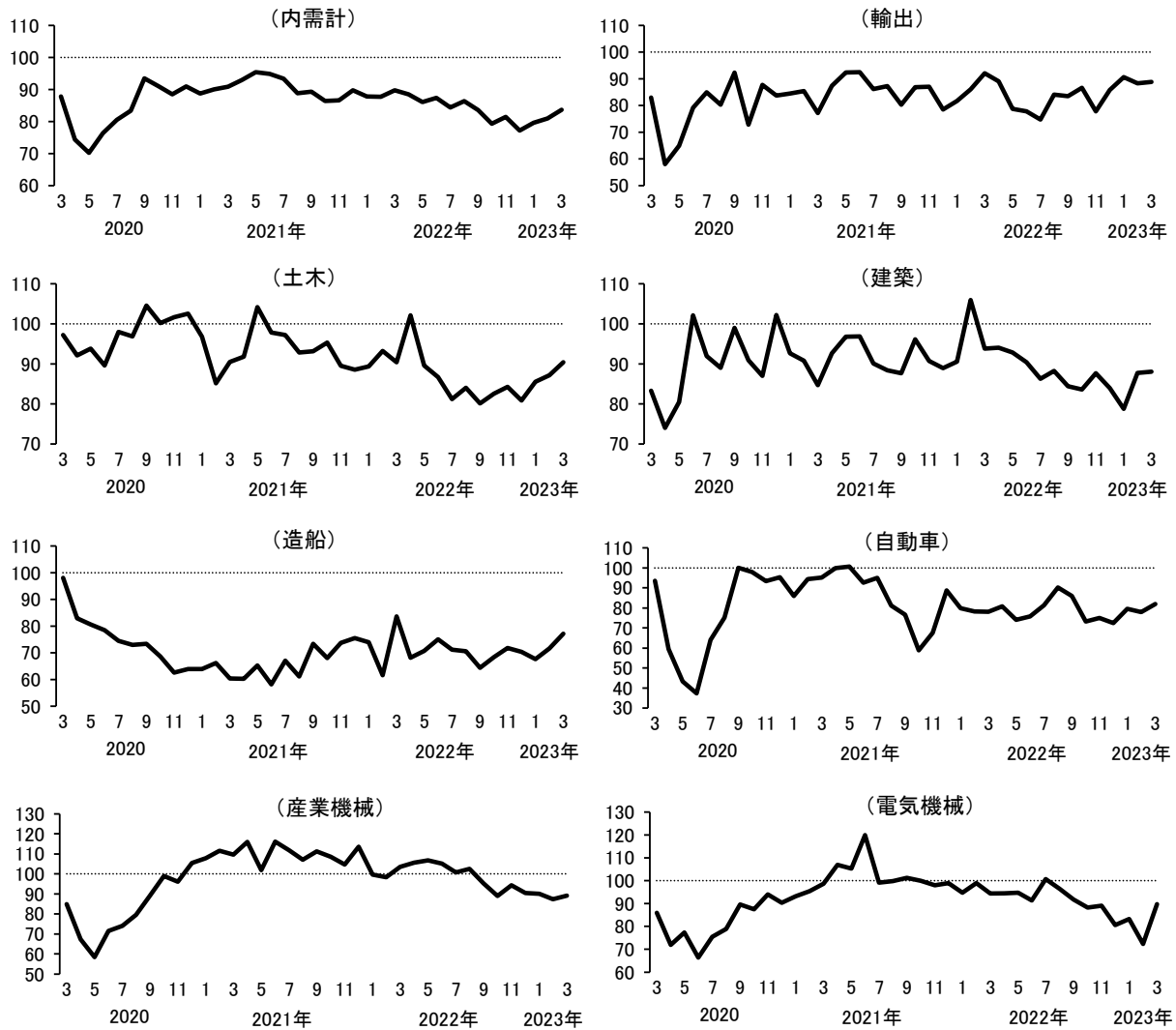
〔表 6〕鋼 材 受 注 総 括 表

（単位：千トン、％）

	(単位：千トン、%)											
	建設計	普 通			鋼 鋼 材					販売業者	内需計	輸出
		土 木	建 築	その他建設	製造業計	造 船	自動車	産 機	電 機			
2021年度	10,479	2,051	6,047	2,382	15,747	2,752	7,085	1,555	1,519	12,088	38,314	22,453
2022年度	9,463	1,887	5,662	1,914	14,747	2,834	6,789	1,389	1,338	11,097	35,307	21,782
2022年 1～ 3月	2,550	486	1,537	528	3,871	714	1,756	354	368	2,969	9,391	5,752
4～ 6月	2,529	497	1,520	512	3,551	716	1,468	385	337	2,922	9,002	5,278
7～ 9月	2,328	453	1,378	497	3,948	694	1,927	348	352	2,685	8,961	5,111
10～12月	2,349	468	1,412	469	3,595	716	1,612	344	337	2,757	8,701	5,467
2023年 1～ 3月	2,256	468	1,352	437	3,653	707	1,782	312	312	2,733	8,643	5,927
2023年 1月	671	149	383	139	1,269	220	654	106	108	843	2,782	1,911
2月	726	140	440	146	1,190	238	576	98	96	876	2,792	1,853
3月	860	179	529	151	1,194	249	552	109	109	1,015	3,069	2,163
2021年度	3.9	▲2.7	3.2	12.3	6.5	▲3.3	3.8	20.9	18.8	7.5	6.1	9.4
2022年度	▲9.7	▲8.0	▲6.4	▲19.6	▲6.3	3.0	▲4.2	▲10.7	▲11.9	▲8.2	▲7.8	▲3.0
2022年 1～ 3月	2.4	▲0.2	8.1	▲9.4	▲6.2	15.0	▲13.2	▲8.5	0.3	2.0	▲1.4	6.7
4～ 6月	▲6.1	▲5.4	▲2.8	▲15.2	▲12.0	16.1	▲22.2	▲5.0	▲15.2	▲3.1	▲7.6	▲9.5
7～ 9月	▲9.3	▲13.3	▲2.8	▲20.7	▲2.4	1.9	3.6	▲9.7	▲3.7	▲9.1	▲6.3	▲4.8
10～12月	▲12.0	▲9.5	▲7.6	▲24.8	▲5.3	▲3.1	1.9	▲16.3	▲13.1	▲12.5	▲9.5	▲0.6
2023年 1～ 3月	▲11.5	▲3.6	▲12.1	▲17.2	▲5.6	▲1.0	1.5	▲11.8	▲15.1	▲7.9	▲8.0	3.0
2023年 1月	▲13.1	▲4.5	▲13.6	▲19.7	▲6.2	▲9.0	▲0.1	▲9.7	▲12.4	▲11.8	▲9.7	11.2
2月	▲14.4	▲6.5	▲17.0	▲13.3	▲3.7	16.3	▲0.1	▲11.5	▲26.6	▲7.4	▲7.9	3.3
3月	▲7.6	▲0.5	▲6.2	▲18.6	▲6.8	▲7.1	5.2	▲13.9	▲5.1	▲5.0	▲6.4	▲3.4
4月からの累計	9,463	1,887	5,662	1,914	14,747	2,834	6,789	1,389	1,338	11,097	35,307	21,782
前年同期	10,479	2,051	6,047	2,382	15,747	2,752	7,085	1,555	1,519	12,088	38,314	22,453
増 減 量	▲1,016	▲164	▲385	▲467	▲1,000	82	▲296	▲166	▲180	▲991	▲3,007	▲671
前年同期比	▲9.7	▲8.0	▲6.4	▲19.6	▲6.3	3.0	▲4.2	▲10.7	▲11.9	▲8.2	▲7.8	▲3.0

（出所）日本鉄鋼連盟

〔図 19〕 普通鋼鋼材受注推移（季節調整済指数、2015 年＝100）



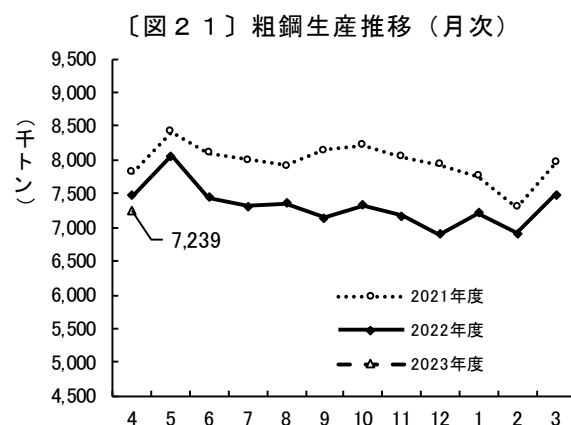
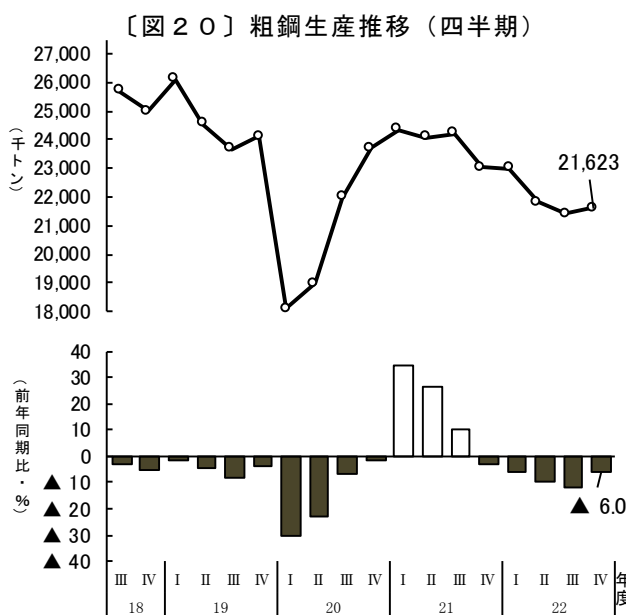
	特 殊 鋼 材							(単位：千トン、%)	
	製造業計	鋼 材			販売業者	内需計	輸出	鋼 材 合 計	
		産 機	自動車	次工程				内需計	輸出計
2021年度	10,345	1,623	4,328	3,858	1,107	11,803	4,742	50,117	27,195
2022年度	8,986	1,434	3,818	3,269	896	10,177	4,348	45,483	26,130
2022年 1～3月	2,478	397	1,056	897	262	2,826	1,213	12,217	6,965
4～6月	2,284	367	922	858	258	2,621	1,163	11,623	6,441
7～9月	2,289	357	1,002	817	215	2,579	1,059	11,541	6,170
10～12月	2,191	346	931	804	215	2,477	1,080	11,178	6,547
2023年 1～3月	2,222	364	963	789	208	2,499	1,045	11,142	6,972
2023年 1月	737	118	328	256	69	828	337	3,610	2,248
2月	728	106	319	268	69	821	299	3,612	2,152
3月	758	140	316	265	71	851	409	3,920	2,572
2021年度	17.7	31.1	11.1	21.2	29.9	18.2	13.5	8.7	10.1
2022年度	▲13.1	▲11.6	▲11.8	▲15.3	▲19.1	▲13.8	▲8.3	▲9.2	▲3.9
2022年 1～3月	▲11.1	▲1.4	▲11.5	▲14.9	▲2.6	▲10.1	▲8.4	▲3.6	3.8
4～6月	▲15.3	▲11.3	▲17.4	▲16.2	▲7.1	▲14.4	▲7.6	▲9.2	▲9.1
7～9月	▲13.9	▲12.6	▲11.0	▲17.3	▲24.1	▲14.9	▲11.4	▲8.4	▲6.0
10～12月	▲12.8	▲14.3	▲9.7	▲15.2	▲24.6	▲14.1	0.6	▲10.6	▲0.4
2023年 1～3月	▲10.3	▲8.3	▲8.8	▲12.1	▲20.3	▲11.6	▲13.9	▲8.8	0.1
2023年 1月	▲12.2	▲6.6	▲11.2	▲16.1	▲17.7	▲13.0	▲15.6	▲10.5	6.1
2月	▲10.6	▲17.8	▲8.3	▲8.7	▲20.7	▲11.9	▲14.4	▲8.8	0.4
3月	▲8.1	▲1.1	▲6.7	▲11.3	▲22.3	▲9.8	▲11.9	▲7.2	▲4.9
4月からの累計	8,986	1,434	3,818	3,269	896	10,177	4,348	45,483	26,130
前年同期	10,345	1,623	4,328	3,858	1,107	11,803	4,742	50,117	27,195
増 減 量	▲1,359	▲189	▲510	▲589	▲211	▲1,627	▲394	▲4,634	▲1,065
前年同期比	▲13.1	▲11.6	▲11.8	▲15.3	▲19.1	▲13.8	▲8.3	▲9.2	▲3.9

4. 鉄鋼需給（生産・出荷・在庫）

－4月の粗鋼生産(速報)は、前年同月比3.1%減の724万トンと16ヵ月連続の減少－

○粗鋼生産・普通鋼鋼材生産、普通鋼鋼材出荷・在庫動向

- ・ 4月の粗鋼生産(速報)は、前年同月比3.1%減の724万トンと16ヵ月連続の減少となった。
- ・ 4月の普通鋼鋼材生産(速報)は、前年同月比3.8%減の492万トンと16ヵ月連続の減少となった。
- ・ 3月の普通鋼鋼材国内向け出荷は、前年同月比5.0%減の352万トンと14ヵ月連続の減少となった。輸出向け出荷は同2.2%減の210万トンと3ヵ月ぶりの減少となった。
- ・ 3月末の普通鋼鋼材国内向け在庫は、前月末比18.6万トン減の539万トンと2ヵ月連続の減少となった。なお、在庫率は前月末比34.9ポイント低下の153.3%となった。



(万トン)	粗鋼		
	需要量見通し	生産計画	実績
2022年10月～12月	2,255	2,213	2,141
2023年1月～3月	2,210	2,190	2,162
2023年4月～6月	2,192	2,261	

〔表7〕鉄鋼需給総括表

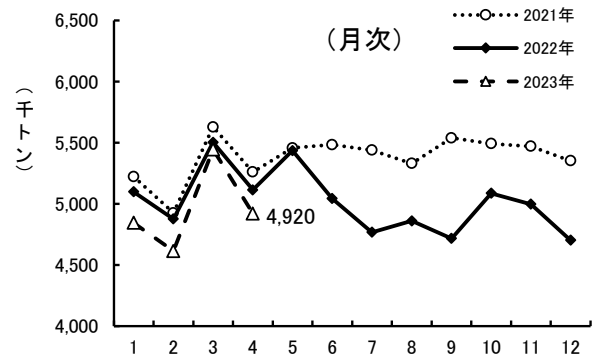
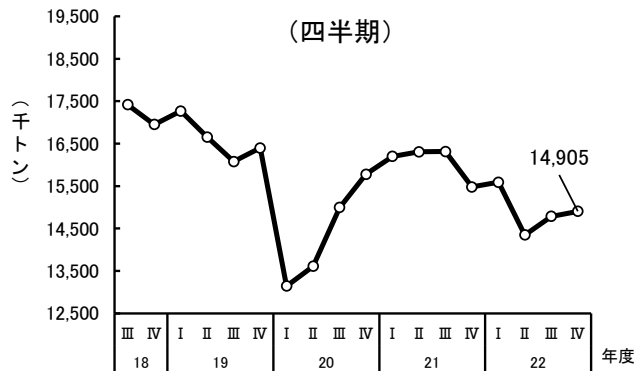
（単位：千トン、%）

	粗鋼生産			鋼材生産		普通鋼鋼材出荷			普通鋼鋼材在庫		
	合計	転炉鋼	電炉鋼	普通鋼	特殊鋼	計	国内	輸出	計	国内	在庫率
2021年度	95,637	71,152	24,485	64,302	17,201	63,294	40,483	22,811	6,838	5,988	161.8
2022年度	87,837	64,326	23,511	59,629	15,334	60,064	38,051	22,013	6,402	5,388	153.3
2022年 1～3月	23,012	17,078	5,935	15,479	4,134	15,614	10,120	5,494	6,838	5,988	177.5
4～6月	22,984	16,697	6,288	15,592	3,922	15,482	9,567	5,915	6,947	6,030	189.1
7～9月	21,820	16,066	5,754	14,346	3,873	14,452	9,463	4,989	6,842	5,971	189.3
10～12月	21,410	15,551	5,858	14,785	3,855	15,044	9,615	5,429	6,583	5,627	175.6
2023年 1～3月	21,623	16,012	5,611	14,905	3,685	15,086	9,406	5,680	6,402	5,388	171.9
2023年 2月	6,916	5,052	1,865	4,615	1,180	4,855	2,962	1,893	6,567	5,574	188.2
3月	7,486	5,529	1,957	5,445	1,286	5,610	3,515	2,095	6,402	5,388	153.3
P 4月	7,239	5,274	1,965	4,920	-	-	-	-	-	-	-
2021年度	15.5	15.9	14.6	11.8	24.4	8.5	7.0	11.3	1,008	917	-
2022年度	▲8.2	▲9.6	▲4.0	▲7.3	▲10.8	▲5.1	▲6.0	▲3.5	▲436	▲599	-
2022年 1～3月	▲2.9	▲4.4	1.6	▲1.9	▲4.6	▲0.4	0.2	▲1.5	▲135	▲141	-
4～6月	▲5.6	▲7.8	0.9	▲3.8	▲11.1	▲1.3	▲5.5	6.2	110	42	-
7～9月	▲9.4	▲11.6	▲2.5	▲12.0	▲12.7	▲8.9	▲3.4	▲17.8	▲106	▲59	-
10～12月	▲11.5	▲12.6	▲8.7	▲9.4	▲8.6	▲6.7	▲7.9	▲4.4	▲258	▲344	-
2023年 1～3月	▲6.0	▲6.2	▲5.5	▲3.7	▲10.9	▲3.4	▲7.1	3.4	▲181	▲239	-
2023年 2月	▲5.3	▲5.6	▲4.3	▲5.4	▲10.9	1.6	▲3.9	11.5	▲241	▲90	-
3月	▲5.9	▲6.2	▲5.1	▲1.1	▲11.9	▲4.0	▲5.0	▲2.2	▲165	▲186	-
4月	▲3.1	▲3.4	▲2.4	▲3.8	-	-	-	-	-	-	-
1月からの累計	28,861	21,286	7,576	19,825	3,685	15,086	9,406	5,680	-	-	-
前年同期	30,484	22,537	7,947	20,594	4,134	15,614	10,120	5,494	-	-	-
増減量	▲1,623	▲1,251	▲372	▲768	▲449	▲528	▲713	186	-	-	-
前年同期比	▲5.3	▲5.6	▲4.7	▲3.7	▲10.9	▲3.4	▲7.1	3.4	-	-	-

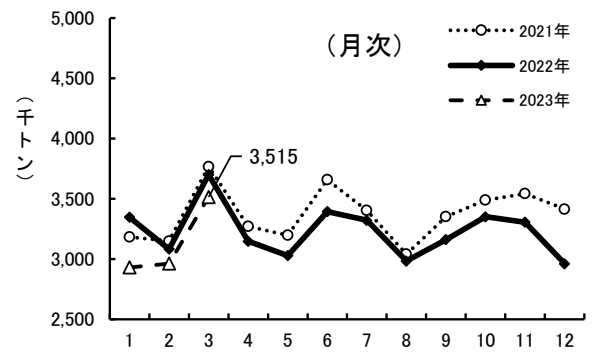
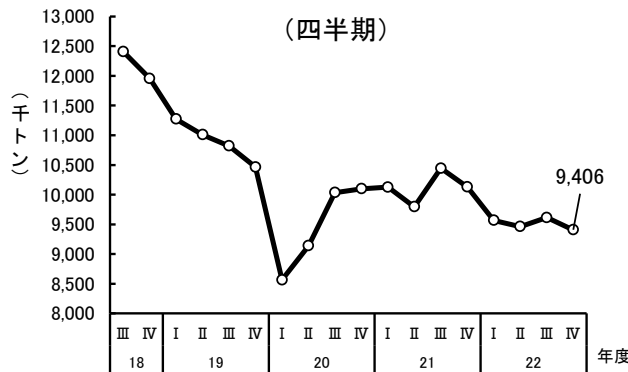
（出所）経済産業省、日本鉄鋼連盟（注）在庫は前月（期）末比増減量

〔図22〕 普通鋼鋼材需給

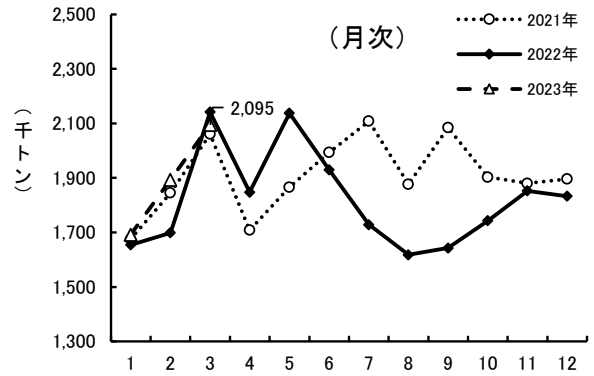
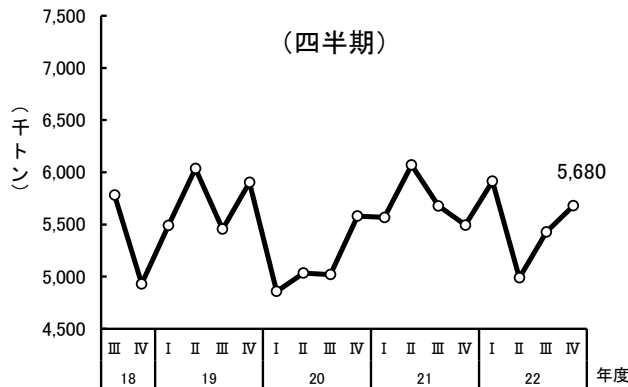
生産



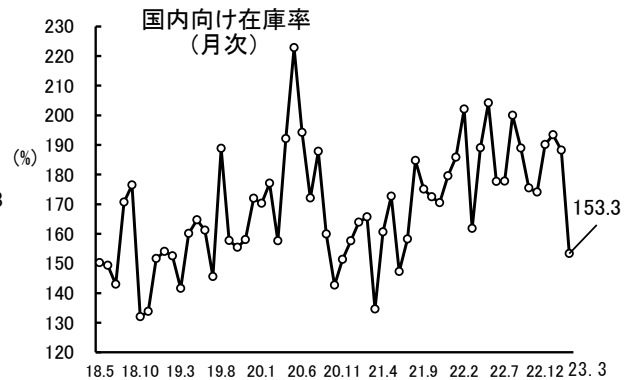
国内向け出荷



輸出向け出荷



国内向け在庫



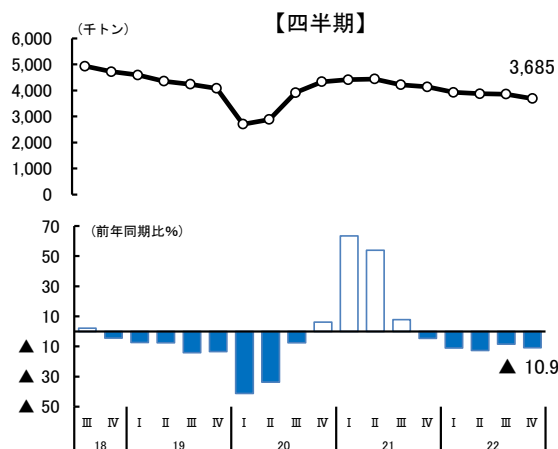
特殊鋼鋼材需給

－3月の特殊鋼鋼材生産は前年同月比11.9%減の129万トンと15ヵ月連続の減少、
2022年度の特特殊鋼鋼材生産は前年度比10.8%減の1,533万トンと2年ぶりの減少－

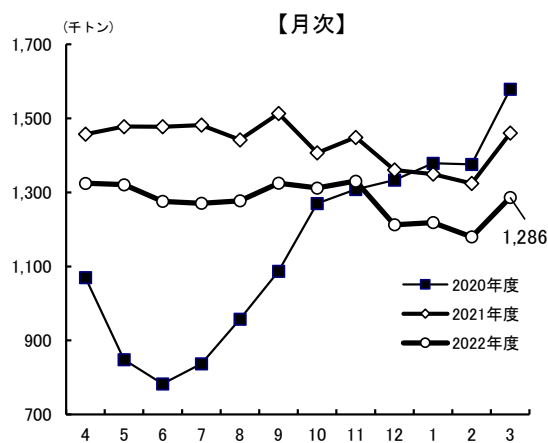
○生産、出荷、在庫動向

- ・3月の特殊鋼鋼材生産は、前年同月比11.9%減の129万トンと15ヵ月連続の減少となった。鋼種別には、高抗張力鋼（同2.1%増）が増加したものの、工具鋼（同18.2%減）、機械構造用炭素鋼（同15.1%減）、構造用合金鋼（同14.4%減）、ばね鋼（同15.2%減）、ステンレス鋼（同16.2%減）が減少した。
- ・2022年度の特特殊鋼鋼材生産は前年度比10.8%減の1,533万トンと2年ぶりの減少となった。
- ・3月の特殊鋼鋼材出荷は、国内向け（同10.0%減、97万トン・5ヵ月連続）、輸出向け（同13.8%減、36万トン・10ヵ月連続）がともに減少し、合計（同11.1%減、133万トン）では14ヵ月連続の減少となった。
- ・3月末の特特殊鋼鋼材在庫は、前月末比7.3万トン減の173万トンとなった。なお、在庫率は17.5ポイント低下し129.9%となった。

〔図2-3〕特殊鋼鋼材生産推移



〔図2-4〕特殊鋼鋼材生産推移



〔表8〕特殊鋼鋼材需給表

(単位：千トン、%)												
	生 産	出 荷			在 庫		鋼 種 別 生 産					
		計	国 内	輸 出		在庫率	工具鋼	S C	A L	ばね鋼	ステンレス	高抗張力鋼
2021年度	17,201	16,783	11,969	4,814	1,957	130.9	195	4,629	3,584	360	2,238	4,182
2022年度	15,334	15,263	10,884	4,379	1,728	129.9	155	3,981	3,231	312	2,043	3,956
2022年 1～ 3月	4,134	4,105	2,973	1,132	1,957	143.0	50	1,117	868	82	555	990
4～ 6月	3,922	3,889	2,702	1,187	1,879	144.9	45	999	812	79	520	1,020
7～ 9月	3,873	3,795	2,677	1,117	1,850	146.2	40	988	813	77	537	1,007
10～12月	3,855	3,852	2,789	1,063	1,822	141.9	39	1,023	833	81	520	944
2023年 1～ 3月	3,685	3,726	2,716	1,011	1,728	139.1	31	971	774	75	465	985
2023年 1月	1,218	1,175	858	317	1,848	157.2	9	324	259	24	146	326
2月	1,180	1,221	886	335	1,801	147.4	11	320	249	27	152	298
3月	1,286	1,330	971	358	1,728	129.9	11	327	266	24	167	361
2021年度	24.4	22.0	20.6	25.5	235	－	38.2	29.8	25.2	16.2	22.0	15.9
2022年度	▲10.8	▲9.1	▲9.1	▲9.0	▲229	－	▲20.4	▲14.0	▲9.9	▲13.4	▲8.7	▲5.4
2022年 1～ 3月	▲4.6	▲3.2	▲2.4	▲5.1	▲57	－	13.7	▲3.9	▲4.8	▲15.8	7.3	▲10.6
4～ 6月	▲11.1	▲9.0	▲11.4	▲3.1	▲78	－	▲3.3	▲16.2	▲13.1	▲18.3	▲3.0	▲6.1
7～ 9月	▲12.7	▲11.1	▲10.7	▲12.1	▲29	－	▲13.3	▲17.9	▲11.5	▲21.1	▲8.1	▲5.3
10～12月	▲8.6	▲6.8	▲5.4	▲10.3	▲28	－	▲25.6	▲8.3	▲3.6	▲2.7	▲7.3	▲9.5
2023年 1～ 3月	▲10.9	▲9.2	▲8.7	▲10.7	▲94	－	▲37.6	▲13.1	▲10.9	▲9.3	▲16.3	▲0.5
2023年 1月	▲9.7	▲8.9	▲9.9	▲6.0	26	－	▲44.1	▲13.0	▲7.5	▲6.8	▲13.5	▲1.5
2月	▲10.9	▲7.5	▲5.9	▲11.6	▲47	－	▲45.4	▲11.1	▲10.4	▲5.6	▲19.0	▲2.2
3月	▲11.9	▲11.1	▲10.0	▲13.8	▲73	－	▲18.2	▲15.1	▲14.4	▲15.2	▲16.2	2.1
4月からの累計	15,334	15,263	10,884	4,379	－	－	155	3,981	3,231	312	2,043	3,956
前年同期	17,201	16,783	11,969	4,814	－	－	195	4,629	3,584	360	2,238	4,182
増 減 量	▲1,866	▲1,520	▲1,084	▲435	－	－	▲40	▲649	▲353	▲48	▲195	▲225
前年同期比	▲10.8	▲9.1	▲9.1	▲9.0	－	－	▲20.4	▲14.0	▲9.9	▲13.4	▲8.7	▲5.4

（出所）経済産業省、日本鉄鋼連盟

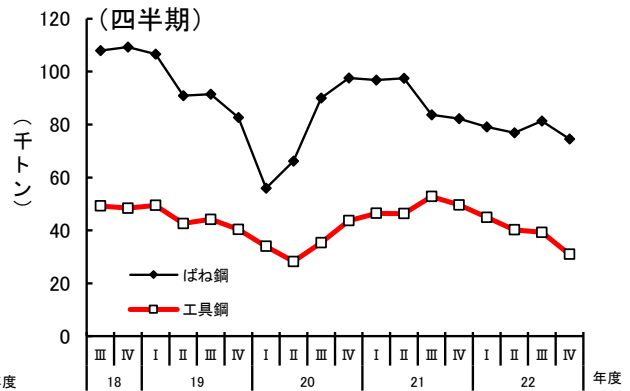
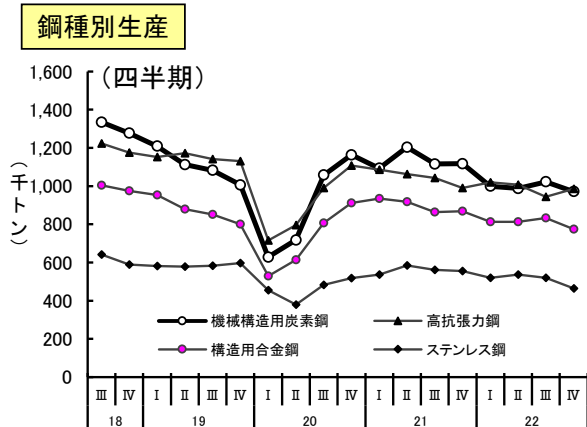
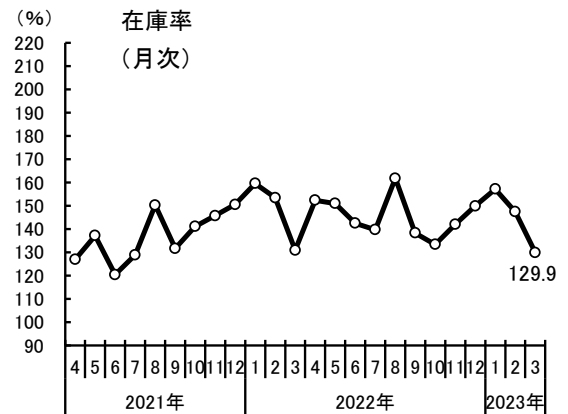
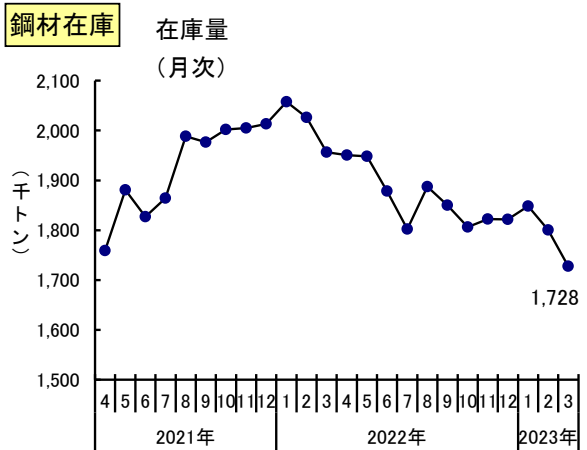
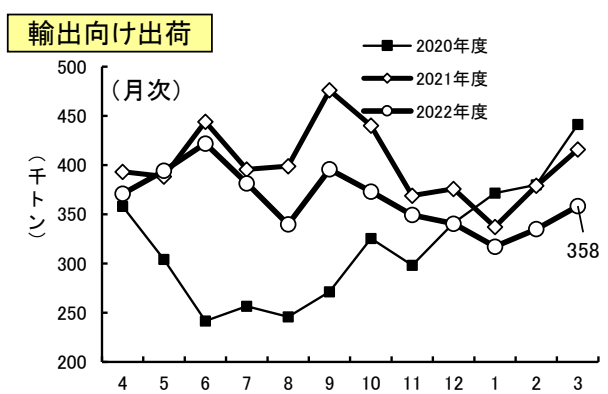
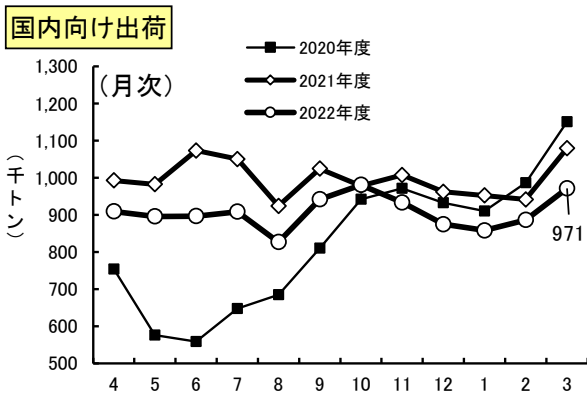
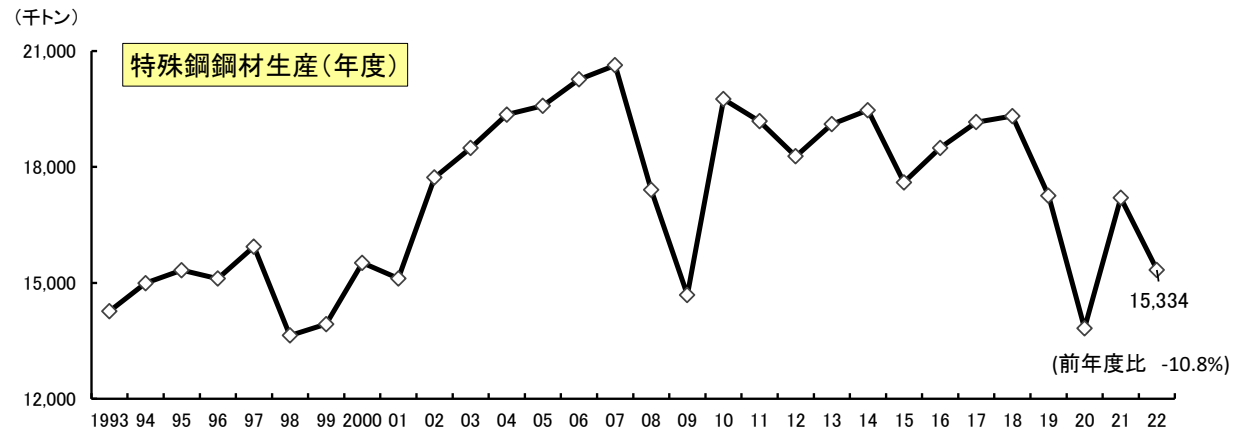
（注）1. 在庫は前月（期）末比増減。

2. 生産は最終鋼材生産、出荷・メーカー在庫は外販用鋼材販売在庫調査、在庫はメーカー及び市中在庫合計。

3. SCは機械構造用炭素鋼、ALは構造用合金鋼。

4. 生産については、2020年1月より、経済産業省の特特殊鋼生産統計（最終鋼材）において鋼管が対象外とされたため、本表では業界自主統計より特殊鋼鋼管生産を加算して最終鋼材生産を算出している。

〔図 2 5〕 特殊鋼鋼材需給



５．鋼材輸入、鋼材流通

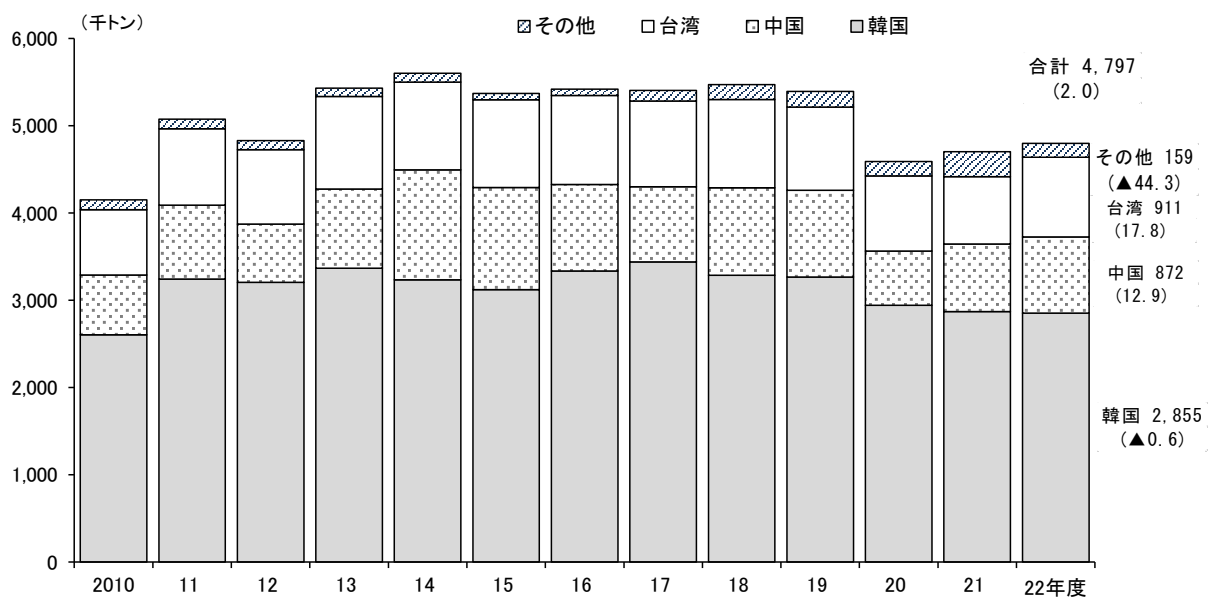
－３月の鋼材輸入は、前年同月比 3.0%増の 43 万トンと 2 ヶ月連続の増加、

2022 年度は、前年度比 2.0%増の 480 万トンと 2 年連続の増加－

○ ３月の鋼材輸入の動向

- ・ ３月の鋼材輸入（普通鋼＋特殊鋼）は、前年同月比 3.0%増の 43 万トンと 2 ヶ月連続の増加となった。国別では、韓国（5.2%増・2 ヶ月連続）、中国（11.3%増・11 ヶ月連続）、台湾（13.8%増・6 ヶ月連続）が増加した。
- ・ 2022 年度は、前年度比 2.0%増の 480 万トンと 2 年連続の増加となった。
- ・ 鋼種別では、普通鋼（5.4%増）が 4 ヶ月連続の増加となった一方、特殊鋼（16.2%減）は 4 ヶ月連続の減少となった。特殊鋼のうち、その他合金鋼（2.6%増・2 ヶ月ぶり）が増加したものの、ステンレス鋼（32.1%減・4 ヶ月連続）は減少した。

〔図 2 6〕 鋼材輸入国別推移（普通鋼＋特殊鋼）



（注）棒グラフ上の数値は、普通鋼と特殊鋼の輸入量計。（ ）は前年同月比。

〔表 9〕 普 通 鋼 鋼 材 輸 入

（単位：千トン、％）

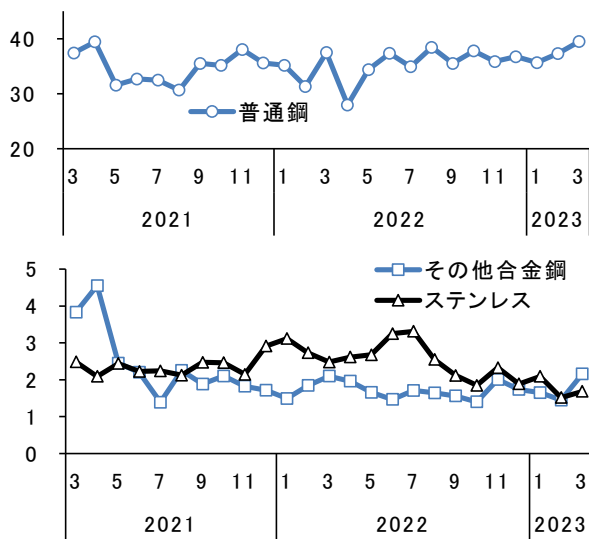
	鋼材輸入 合計 (普通鋼+特殊鋼)	普通鋼鋼材輸入							国 別			
		合 計	線 材	厚中板	熱延薄板類	冷延薄板類	亜鉛めっき鋼板	その他	韓 国	台 湾	中 国	その他
2021年度	4,703	4,150	318	415	1,228	870	899	420	2,627	702	573	249
2022年度	4,797	4,314	303	389	1,397	813	991	420	2,672	836	693	113
2022年 1- 3月	1,177	1,040	87	97	319	195	232	109	676	165	140	58
4- 6月	1,133	997	65	92	338	190	208	103	627	211	132	26
7- 9月	1,218	1,089	103	90	364	198	237	96	673	186	183	47
10-12月	1,216	1,104	54	94	362	211	265	117	658	233	195	17
2023年 1- 3月	1,230	1,125	81	113	333	213	280	105	714	206	182	23
2023年 1月	394	357	36	38	111	64	71	37	224	72	51	10
2月	403	373	21	32	107	78	104	31	244	68	58	3
3月	433	395	24	42	115	72	105	36	245	66	73	10
2021年度	2.5	4.1	26.4	▲20.4	▲0.5	21.7	10.6	▲7.3	▲2.3	▲13.5	60.0	91.4
2022年度	2.0	3.9	▲4.6	▲6.4	13.8	▲6.6	10.3	0.1	1.7	19.0	20.9	▲54.4
2022年 1- 3月	▲5.0	▲3.8	35.9	▲30.4	▲5.3	▲5.1	1.7	3.3	▲11.7	▲19.7	105.0	43.5
4- 6月	▲5.3	▲3.8	3.3	▲16.9	14.7	▲20.2	▲7.2	▲1.9	▲6.2	4.9	12.3	▲46.8
7- 9月	9.7	10.4	10.5	▲9.4	30.7	▲13.1	24.9	▲1.0	12.2	13.1	29.8	▲42.2
10-12月	▲0.3	1.5	▲26.6	▲13.3	8.1	1.0	5.2	7.1	▲3.5	35.8	12.4	▲71.1
2023年 1- 3月	4.5	8.2	▲8.0	16.1	4.2	9.7	20.8	▲3.9	5.6	24.7	29.8	▲60.2
2023年 1月	▲0.9	1.4	50.1	▲2.1	▲5.1	3.1	▲11.5	23.6	▲7.3	32.9	19.8	▲26.8
2月	12.2	19.2	4.9	25.4	0.5	23.1	62.7	▲8.0	19.9	17.7	68.5	▲82.9
3月	3.0	5.4	▲45.5	30.9	19.9	3.5	19.6	▲19.3	6.4	23.9	15.5	▲62.5
4月からの累計	4,797	4,314	303	389	1,397	813	991	420	2,672	836	693	113
前年同期	4,703	4,150	318	415	1,228	870	899	420	2,627	702	573	249
増 減 量	94	164	▲15	▲27	169	▲57	93	*	46	133	120	▲135
前年同期比	2.0	3.9	▲4.6	▲6.4	13.8	▲6.6	10.3	0.1	1.7	19.0	20.9	▲54.4

（出所）財務省貿易統計

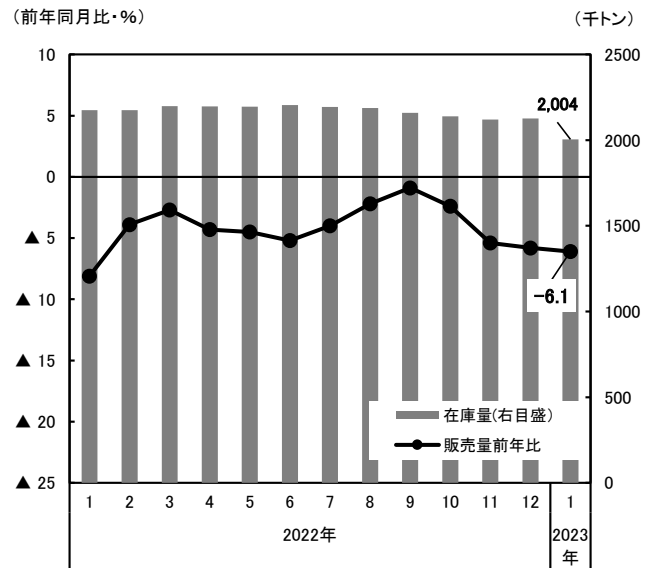
〇1月における鋼材流通の動向

- ・ 市中販売は、前年同月比では6.1%減の200万トンと19ヵ月連続の減少となった。
- ・ 市中在庫（自社所有分）は、前月末比で1.4万トン減少の211万トンと2ヵ月ぶりの減少となった。

〔図27〕 鋼材輸入鋼種別推移



〔図28〕 市中鋼材数量調査の推移



〔表10〕 特殊鋼鋼材輸入

(単位: 千トン、%)										
	特殊鋼鋼材輸入									
	合 計	ステンレス	その他 合金鋼				国 別			
				線材	鋼板	その他	韓 国	台 湾	中 国	その他
2021年度	552	294	258	57	19	182	244	71	200	38
2022年度	483	279	204	57	17	130	182	75	179	46
2022年 1- 3月	138	83	54	13	5	36	58	23	45	11
4- 6月	136	85	51	13	3	35	54	23	47	12
7- 9月	129	80	49	13	4	32	54	19	42	14
10-12月	112	61	51	13	5	34	35	14	52	12
2023年 1- 3月	105	53	53	18	5	30	40	19	38	9
2023年 1月	37	21	17	6	1	10	13	11	11	3
2月	30	15	14	5	1	9	11	4	12	3
3月	38	17	22	7	4	11	16	5	15	3
2021年度	▲8.1	31.1	▲31.5	▲10.8	▲87.9	17.0	▲3.9	46.4	▲24.6	11.7
2022年度	▲12.6	▲5.3	▲21.0	▲0.2	▲11.1	▲28.4	▲25.4	6.3	▲10.1	22.0
2022年 1- 3月	▲13.5	19.7	▲39.2	▲32.1	▲81.2	▲16.3	▲15.5	62.7	▲34.4	54.4
4- 6月	▲14.6	26.4	▲44.7	▲33.2	▲60.3	▲46.3	▲15.4	44.3	▲34.0	47.6
7- 9月	4.3	16.7	▲11.0	18.3	22.1	▲21.4	▲9.9	33.7	5.9	42.1
10-12月	▲14.8	▲19.3	▲8.8	0.4	58.9	▲16.6	▲44.6	▲21.0	21.4	33.8
2023年 1- 3月	▲23.3	▲36.4	▲3.4	31.9	2.8	▲17.5	▲31.8	▲16.4	▲16.2	▲22.2
2023年 1月	▲18.8	▲32.8	10.7	36.1	▲70.0	18.4	▲37.6	41.3	▲21.4	▲26.3
2月	▲35.2	▲44.4	▲21.5	34.9	▲59.5	▲33.6	▲44.7	▲40.7	▲22.1	▲28.0
3月	▲16.2	▲32.1	2.6	26.7	203.3	▲25.0	▲10.7	▲47.5	▲5.8	▲11.5
4月からの累計	483	279	204	57	17	130	182	75	179	46
前年同期	552	294	258	57	19	182	244	71	200	38
増 減 量	▲70	▲16	▲54	▲*	▲2	▲52	▲62	4	▲20	8
前年同期比	▲12.6	▲5.3	▲21.0	▲0.2	▲11.1	▲28.4	▲25.4	6.3	▲10.1	22.0

(出所) 財務省貿易統計

〔表11〕 鋼材流通動向

市中鋼材数量調査	
販売量	在庫量
26,718	2,198
-	-
6,549	2,198
6,448	2,204
6,469	2,160
6,467	2,126
-	-
2,004	2,112
-	-
-	-
▲3.1	259
-	-
▲4.9	70
▲4.7	5
▲2.4	▲44
▲4.6	▲33
-	-
▲6.1	▲14
-	-
-	-
21,388	-
22,303	-
▲915	-
▲4.1	-

(出所) 日本鉄鋼連盟

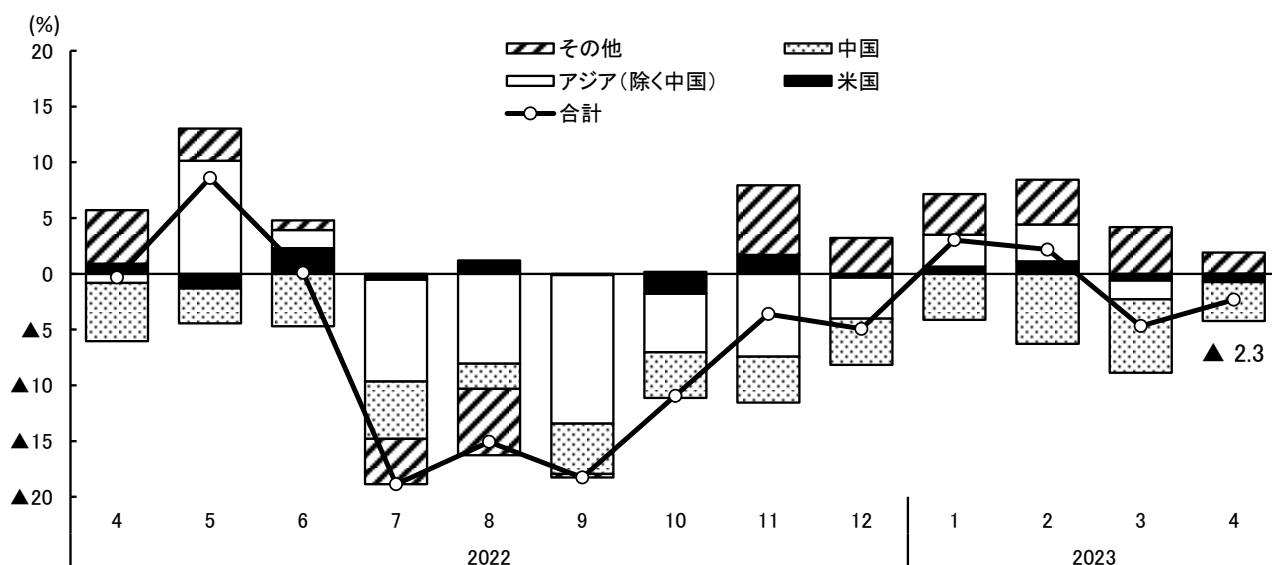
(注) 在庫は前月(期)末比

6. 鉄鋼輸出

－4月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比2.3%減の267万トンと2ヵ月連続の減少－

- 4月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比2.3%減267万トンと2ヵ月連続の減少となった。仕向け先別にみると、韓国向け(7.3%増・5ヵ月連続)が増加したものの、中国向け(28.5%減・14ヵ月連続)、米国向け(19.6%減・2ヵ月連続)、ASEAN向け(3.0%減・2ヵ月連続)が減少した。
- 3月の普通鋼鋼材輸出は、前年同月比2.6%減の207万トンと3ヵ月ぶりの減少となった。品種別にみると、厚中板(20.0%増)、亜鉛めっき鋼板(3.1%増)が増加も、熱延鋼板類(0.5%減)、冷延鋼板類(22.8%減)が減少した。
- 4月の輸出平均単価(速報)は、全鉄鋼ベースで1,113ドルと前月比で2ヵ月ぶりの上昇となった。

〔図29〕全鉄鋼仕向け別輸出推移

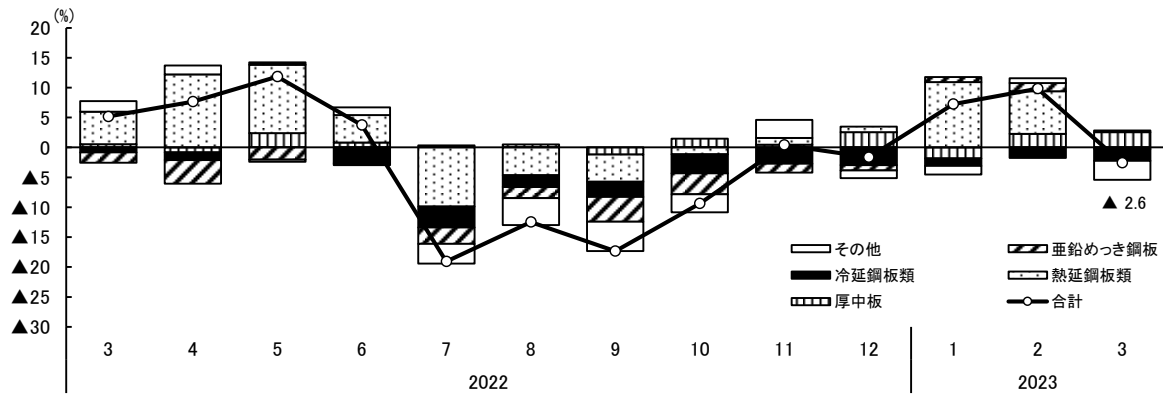


〔表12〕鉄鋼輸出総括表

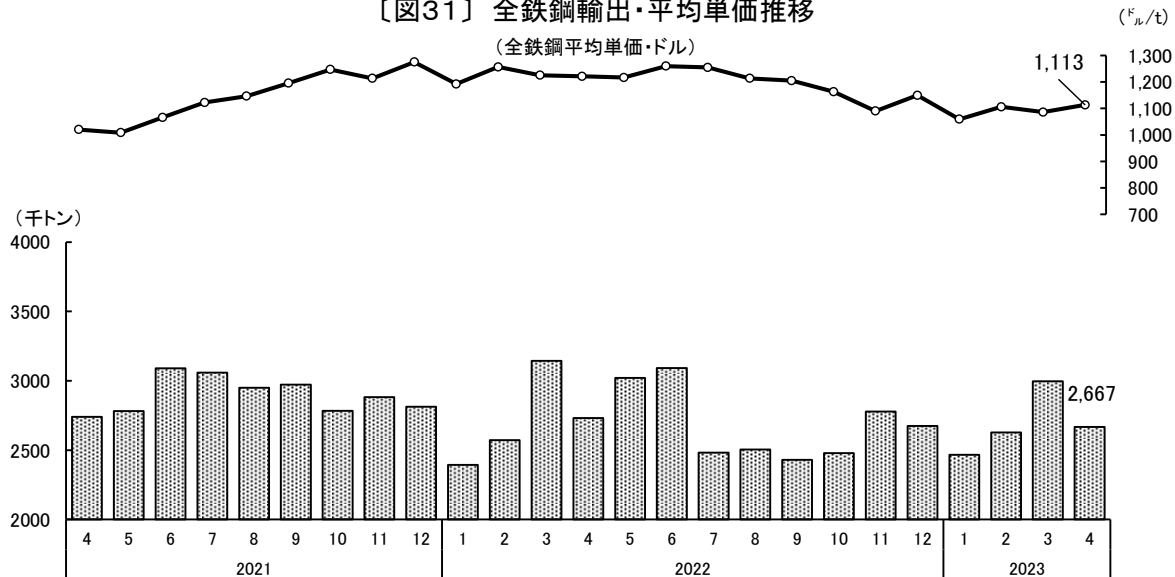
	輸 出 数 量 (千トン)				金 額 (FOB)		平 均 単 価			円／ドル 換算レート
	全鉄鋼	銑鉄	鋼塊・半製品	鋼材	百万ドル	億円	ド ル		千円	
							全鉄鋼	鋼材	鋼材	
2021暦年	34,400	40	3,647	29,805	37,617	41,293	1,093.5	1,087.2	119.3	109.77
2022暦年	32,303	73	3,113	28,345	38,917	50,698	1,204.8	1,200.2	156.4	130.27
2022年 1～ 3月	8,110	8	783	7,112	9,939	11,456	1,225.6	1,218.4	140.4	115.26
4～ 6月	8,844	24	918	7,706	10,908	13,941	1,233.3	1,227.7	156.9	127.80
7～ 9月	7,416	14	701	6,532	9,083	12,444	1,224.7	1,223.3	167.6	137.00
10-12月	7,933	26	711	6,996	8,988	12,858	1,133.0	1,129.4	161.6	143.05
2023年 1～ 3月	8,091	52	761	7,109	8,775	11,627	1,084.5	1,083.0	143.5	132.51
2023年 2月	2,628	17	209	2,342	2,907	3,790	1,106.0	1,104.9	144.1	130.39
3月	2,997	27	289	2,620	3,256	4,394	1,086.2	1,086.7	146.7	134.97
P 4月	2,667	－	－	－	2,969	3,927	1,113.2	－	－	132.25
2021暦年	7.0	▲92.7	▲10.5	11.4	42.6	46.3	33.2	32.1	35.4	2.5
2022暦年	▲6.1	84.0	▲14.6	▲4.9	3.5	22.8	10.2	10.4	31.0	18.7
2022年 1～ 3月	▲2.6	▲30.1	▲11.0	▲1.5	27.6	39.6	31.0	31.0	43.4	9.5
4～ 6月	2.7	208.9	▲8.9	4.6	22.6	43.4	19.4	19.5	39.8	16.9
7～ 9月	▲17.4	24.5	▲22.5	▲16.7	▲12.4	9.0	6.1	6.5	32.5	24.4
10-12月	▲6.5	214.5	▲16.8	▲5.2	▲14.9	7.6	▲9.0	▲8.7	15.4	26.4
2023年 1～ 3月	▲0.2	515.5	▲2.8	▲0.0	▲11.7	1.5	▲11.5	▲11.1	2.2	15.0
2023年 2月	2.2	1,071.8	▲26.0	5.9	▲10.1	2.1	▲12.0	▲11.3	0.7	13.5
3月	▲4.7	657.4	12.1	▲6.7	▲15.5	▲1.6	▲11.4	▲10.9	3.9	16.5
4月	▲2.3	－	－	－	▲11.0	▲4.3	▲8.9	－	－	7.6
1月からの累計	10,759	52	761	7,109	11,744	15,554	1,091.6	1,083.0	143.5	－
前年同期	10,841	8	783	7,112	13,275	15,557	1,224.5	1,627.2	190.7	－
増 減 量	▲82	44	▲22	▲3	▲1,531	▲3	▲132.9	▲544.2	▲47.2	－
前年同期比	▲0.8	515.5	▲2.8	0.0	▲11.5	0.0	▲10.9	▲33.4	▲24.7	－

(出所) 財務省貿易統計 (注) 平均単価欄の鋼材は全鉄鋼から鉄鉄、フェロイを除いたベース。

〔図30〕 普通鋼鋼材品種別輸出推移(前年同月比寄与度・%)



〔図31〕 全鉄鋼輸出・平均単価推移



〔表 1 3〕 国別品種別輸出推移

(単位: 千トン, %)

	全鉄鋼計								普通鋼鋼材計				
	米 国	ア ジ ア	韓 国	中 国	ASEAN10	台 湾	香 港	イ ン ド	厚 中 板	熱 延 鋼 板 類	冷 延 鋼 板 類	亜 鉛 め っ き 鋼 板	
2021暦年	1,178	26,780	4,897	5,124	12,116	2,341	248	757	22,128	2,676	10,701	2,114	2,554
2022暦年	1,268	24,308	5,431	3,949	10,898	1,809	152	848	21,404	2,936	10,870	1,681	2,043
2022年 1- 3月	288	6,148	1,419	1,137	2,647	444	46	132	5,385	720	2,701	480	510
4- 6月	374	6,540	1,472	1,004	2,911	573	37	163	5,830	719	3,055	447	543
7- 9月	281	5,746	1,138	940	2,696	406	36	197	4,870	722	2,403	399	473
10-12月	326	5,874	1,402	868	2,644	386	32	356	5,320	774	2,711	355	518
2023年 1- 3月	313	5,782	1,591	670	2,698	400	32	242	5,609	784	2,987	388	553
2023年 2月	112	1,905	536	236	861	116	12	74	1,842	265	937	127	199
3月	104	2,091	589	232	990	172	15	52	2,072	325	1,077	143	198
P 4月	82	1,870	483	240	807	-	-	-	-	-	-	-	-
2021暦年	32.5	6.3	1.8	▲12.6	23.9	▲4.4	12.3	26.4	5.8	6.5	▲1.8	23.2	32.0
2022暦年	7.6	▲9.2	10.9	▲22.9	▲10.0	▲22.7	▲38.7	11.9	▲3.3	9.7	1.6	▲20.5	▲20.0
2022年 1- 3月	9.7	▲5.0	39.2	▲7.7	▲14.5	▲22.1	▲1.5	▲35.4	0.0	24.3	0.8	▲9.3	▲19.6
4- 6月	18.9	▲1.0	33.0	▲27.2	▲1.9	▲9.2	▲38.7	▲13.3	7.7	6.5	19.7	▲12.8	▲16.8
7- 9月	6.0	▲18.1	▲19.2	▲27.6	▲13.0	▲35.7	▲49.6	7.3	▲16.3	▲0.9	▲13.4	▲28.0	▲26.4
10-12月	▲3.2	▲12.1	2.8	▲28.7	▲10.5	▲24.1	▲53.0	95.9	▲3.5	11.8	0.6	▲31.4	▲17.1
2023年 1- 3月	8.7	▲6.0	12.2	▲41.1	1.9	▲9.8	▲31.0	83.0	4.2	8.9	10.6	▲19.1	8.4
2023年 2月	34.5	▲3.8	16.4	▲40.5	4.1	▲26.0	▲50.2	91.7	9.8	16.9	14.6	▲18.8	13.3
3月	▲15.9	▲11.0	5.6	▲47.2	▲6.4	14.8	▲22.8	6.1	▲2.6	20.0	▲0.5	▲22.8	3.1
4月	▲19.6	▲4.8	7.3	▲28.5	▲3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
1月からの累計	395	7,652	2,075	910	3,505	400	32	242	5,609	784	2,987	388	553
前年同期	390	8,114	1,869	1,472	3,479	444	46	132	5,385	720	2,701	480	510
増 減 量	5	▲462	206	▲563	26	▲44	▲14	110	225	64	287	▲92	43
前年同期比	1.3	▲5.7	11.0	▲38.2	0.7	▲9.8	▲31.0	83.0	4.2	8.9	10.6	▲19.1	8.4

(出所) 財務省貿易統計

(注) アジアは中東を除く。

7. 海外市場 —3月の粗鋼生産(世界計)は前年同月比1.7%増—

1. 概況

中国は政府主体のインフラ投資、国内消費が回復傾向にあるものの、不動産投資は依然低迷し、景気回復には時間を要す状況。米国は追加利上げの影響による景気後退懸念の高まりが見られる。ユーロ圏ではサービス業を中心に景況感の回復が続くものの、製造業は依然低迷。東南アジアでは景気回復の動きが見られる中、国内消費に支えられた輸入増、外需減退による輸出減が継続。世界的なインフレ圧力は緩和しつつも懸念はなお残り、また、金融不安も熾り続ける中、世界経済の不透明感は払拭されない状況が続く。

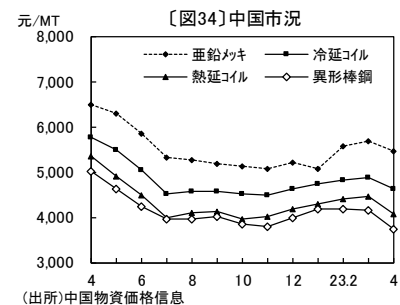
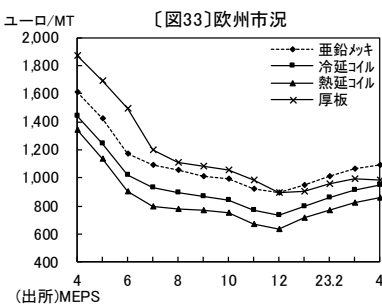
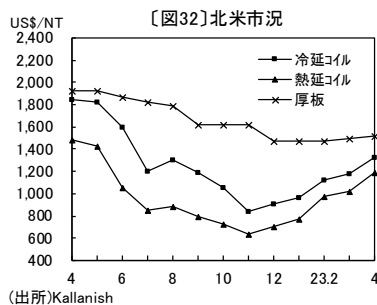
3月の世界の粗鋼生産(推計含む)は、前年同月比1.7%増の1億6,510万トンと6ヵ月ぶりに前年比増。3ヵ月連続の前年比増で22年6月以来の9,000万トン台となった中国が牽引する一方、多くの主要製鉄国では前年比減が継続。

〔表14〕主要国の粗鋼生産

(単位: 100万MT、%)

	2023年3月	前年同月比	2023年1~3月	前年同期比
日本	7.5	▲5.9	21.6	▲6.0
中国	95.7	6.9	261.6	6.1
韓国	5.8	2.7	16.5	▲2.7
台湾	1.8	▲3.2	4.8	▲10.7
インド	11.4	2.7	33.0	2.5
米国	6.7	▲2.1	19.4	▲4.0
ブラジル	2.7	▲8.7	8.0	▲6.8
E U27	11.9	▲5.6	33.1	▲10.1
ロシア	6.6	0.4	18.7	▲1.3
世界計	165.1	1.7	459.3	▲0.1

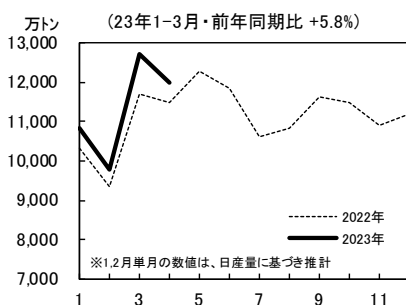
(出所)worldsteel等 (注)米国のみ本文ではネットトンベースのため、上記表中の値とは一致しない。



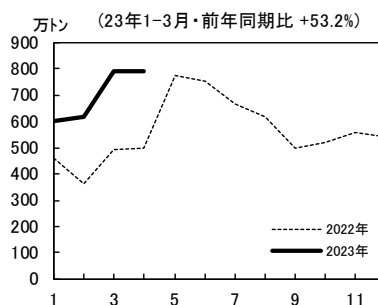
2. 主要国の鉄鋼需給動向

○中国 1~3月期の実質GDP成長率は前年同期比4.5%増。政府主体のインフラ投資、消費が回復傾向も不動産投資は低迷が続く。4月のPMIは前月比2.7pt減の49.2と4ヵ月ぶりに50を下回った。3月の消費者小売総額は前年比10.6%増もサービス消費に偏り、耐久消費財が低迷するなか、若年層の雇用は回復していない。4月の自動車は製販共に3ヵ月連続の前年比増も前月比減。鉄鋼需給では同月の粗鋼生産は前年比1.5%減と4ヵ月ぶりの前年比減も2ヵ月連続の9,000万トン台。同月の鋼材輸出は59.4%の大幅増。同月末は流通在庫が前月比80万トン減となるなか、メーカー在庫は86万トン増。4月末の鋼材市況は各品種とも大幅下落。1~3月の鉄鋼業の売上高利益率はマイナス0.2%と低迷が継続。

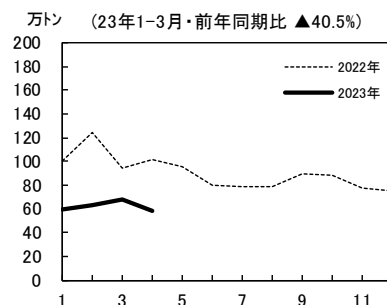
〔図35〕鋼材生産



〔図36〕鋼材輸出

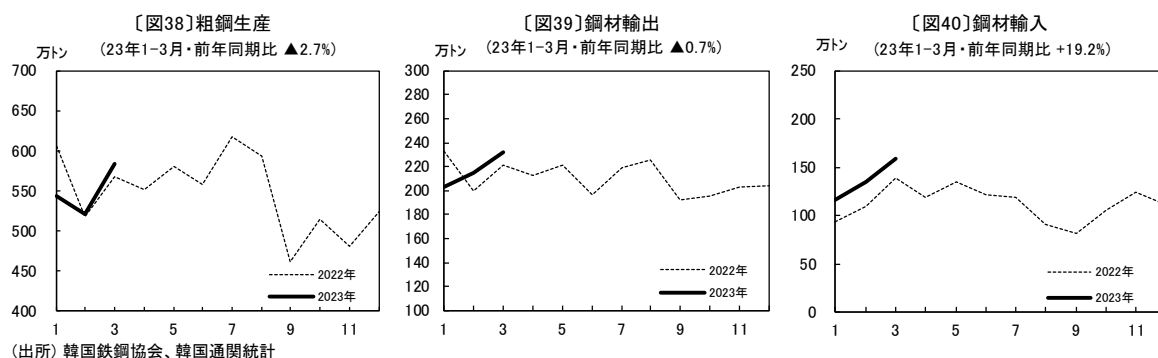


〔図37〕鋼材輸入

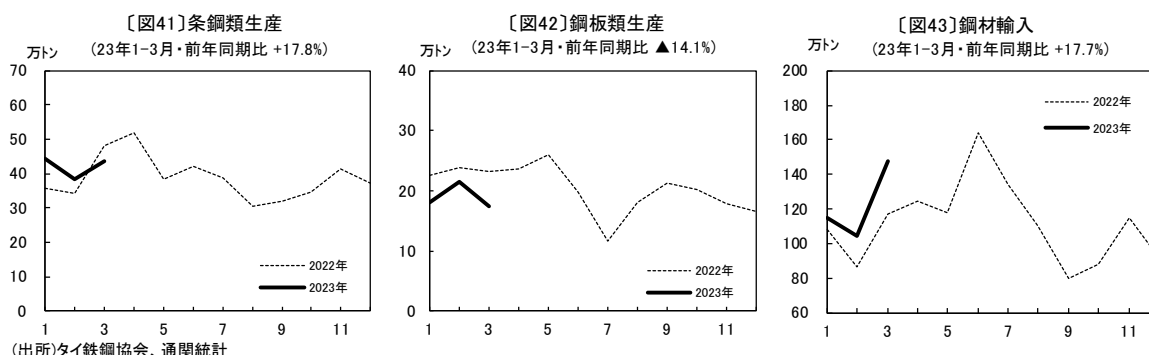


(注) 全て速報ベース、輸出入は半製品を除く
(出所) 中国国家统计局および中国海関総署

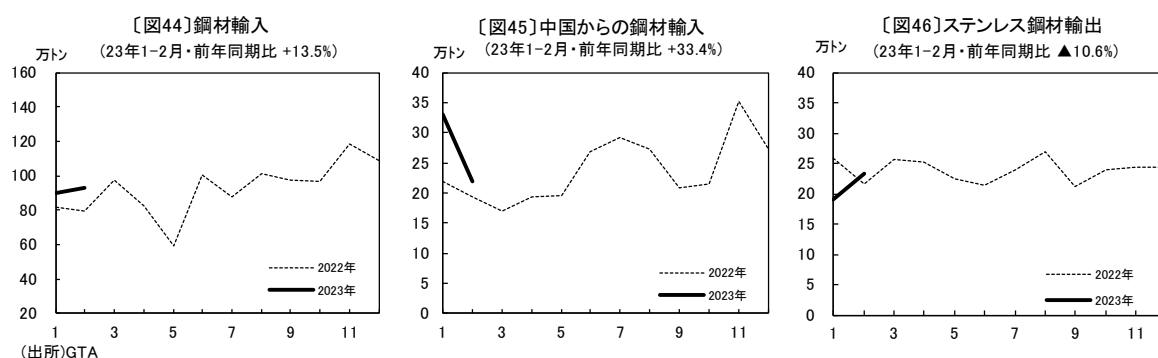
○韓国 インフレは鈍化しているものの、輸出減速・不動産市場低迷により景気は内外からの下押し圧力に直面する状況が続く。4月の自動車生産は半導体供給改善を背景に前年同月比24.7%増の38.2万台と12ヵ月連続の前年比増となった一方、住宅価格が下落幅を拡大する中で3月の建築着工面積は7ヵ月連続の前年割れ。鉄鋼需給をみると、3月の粗鋼生産は前年同月比2.7%増の583万トンと2ヵ月連続の前年比増。3月の鋼材輸出は前年同月比5.0%増の232万トンと2ヵ月連続の前年比増、鋼材輸入は同13.6%増の159万トンと5ヵ月連続の前年比増となった。



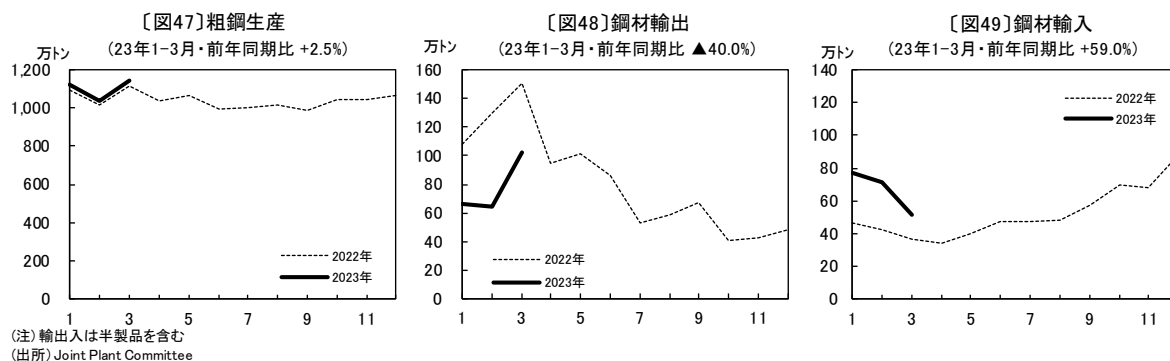
○タイ 中銀は3月の月例経済報告書で、製造業生産と民間投資の前年割れを受け、景気は前月から成長が鈍化したとの見方を示した。3月の自動車生産は、輸出向けが好調で前年同月比4.2%増の18.0万台と10ヵ月連続の前年比増となった。鋼材需給をみると、3月の鋼材見掛消費は輸入の大幅増を背景に前年同月比15.4%増の173万トンと9ヵ月ぶりに170万トン超。鋼材生産は同14.0%減の61万トンと4ヵ月ぶりに前年比減となった。3月の鋼材輸入は鋼板類が堅調に推移し、前年同月比25.8%増の148万トンと3ヵ月連続の100万トン台乗せで前年比増となった。



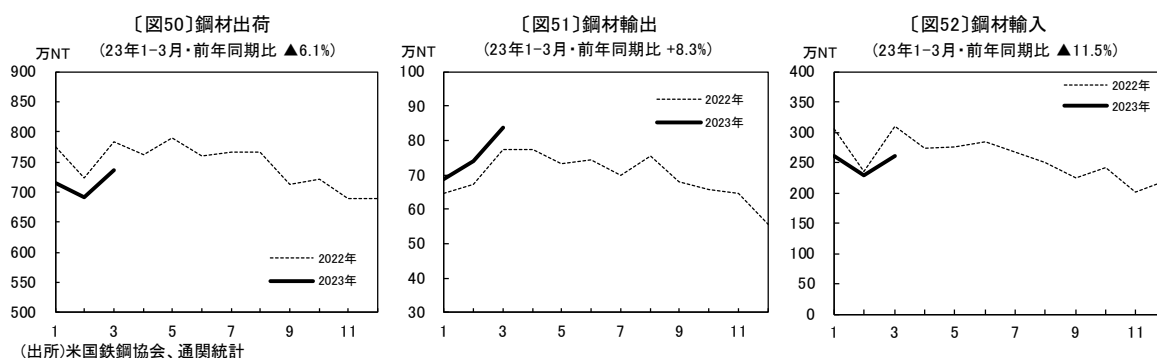
○インドネシア 1～3月期の実質GDP成長率は、国内消費に支えられ民間消費支出の伸びが拡大し、前年同期比5.0%増と前期からわずかに加速。3月の自動車販売は商戦期もあり、前年同月比2.6%増の10.1万台と3ヵ月ぶりに10万トン台乗せとなり好調に推移した。2月の鋼材貿易は、輸入は前年同月比16.8%増の93万トンと8ヵ月連続の前年比二桁増。輸出は同6.3%増の73万トンと3ヵ月ぶりの前年比増となった。うちステンレス鋼材輸出は、中国は数量減が一段と進む一方、台湾の拡大が続き、同8.0%増の23万トンと低水準であった前年の反動で6ヵ月ぶりの前年比増となった。



○インド 4月の総合PMIは2ヵ月ぶりに上昇し2010年7月以降で最高水準に達するなど、インフレ鈍化もあり需要回復基調にある。鉄鋼需要産業では、3月の乗用車生産は前年同月比10.2%増の36.1万台と12ヵ月連続で増加し、22年度計(457.9万台)でも過去最高。鉄鋼需給をみると、3月の粗鋼生産は同2.7%増の1,141万トンと2ヵ月ぶりの前年比増、22年度計では1.26億トンと過去最高。同月の鋼材輸出は前年同月比31.9%減の103万トンと13ヵ月連続の前年割れ・二桁減。一方、輸入は熱延コイルや合金鋼等が増加し、同41.0%増の52万トンと10ヵ月連続の前年比増となったものの、前月比では大幅減。



○米国 依然として堅調な雇用環境に支えられ景気減速は緩やかに止まっているものの、賃金上昇がインフレ圧力を高める懸念に加え、金融不安再燃の中で融資環境悪化による景気下押し懸念も強まっている。鉄鋼需要産業をみると、4月の自動車販売は前年同月比9.0%増の134.7万台と9ヵ月連続の前年比増。鉄鋼需給をみると、3月の粗鋼生産は前年同月比2.1%減の741万ネットトン、鋼材出荷は同5.9%減の737万トンといずれも13ヵ月連続で前年比減となったものの、製鋼操業率は1月以降上昇しつつある。3月の鋼材輸入は同15.4%減の262万ネットトンと薄板類を中心に前年を下回り、10ヵ月連続の前年比減となった。



○欧州 景況感はサービス業を中心とした改善傾向が継続しているものの、製造業は依然低迷。鉄鋼需要産業をみると、3月のドイツの乗用車生産は前年同月比66.6%増の44.2万台と11ヵ月連続の前年比増となった。鉄鋼需給をみると、3月のEU27ヵ国の粗鋼生産は同5.6%減の1,194万トンと13ヵ月連続の前年割れ。2月のEUの鋼材貿易(域外)は、輸出が同17.9%減の120万トンと13ヵ月連続の前年比減となった。2月の輸入は、前年同月比20.9%減の162万トンと7ヵ月連続の前年比減となった。

